京城日報

三十一日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾錢(郵送料前金) 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲新聞欄內一行金壹圓貳拾錢 ▲場所指定一行金拾錢增 ▲三號活字の一行は二號活字同樣 ▲六號活字の一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話(編輯部)三四五番 (營業部)一二二番 (販賣部)三二六番 一六〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

寺內總督訓示 教員講習會に於て

朝鮮に於ける教育の施設は朝鮮の時勢及び民度に適應して漸次其の歩武を進むるを以て方針とす公立普通學校の如きも併合後先づ各府郡に一校の設立を了し爾來每年十數校乃至數十校を增設せり然れども之が成績の擧否は直接教育の任に當る者の能く朝鮮教育の要旨を了得し深く其の方法を攻究して奮勵努力すること如何に存す是を以て本府に於ては每年公立普通學校に新任したる教員を召集して長期の講習を行ふを例とす今回の講習亦之に外ならず本總督は諸子か長期の間克く精勵して毫も倦怠の色無きを見深く之を欣ぶ

惟ふに朝鮮に於ける教育の本旨は教育に關する勅語の御旨趣を奉體して忠良なる國民を育成するに在り諸子常に思を此に致し子弟を教養するに方り徒に知識技能の末に馳せて教育の根本たる德育を輕視するが如きは斷して之を避け生徒をして聖恩の洪大なる所以を牢記せしむると共に各其の分に安じ其の業を勵み質素勤勉にして著實穩健なる良民たらしめむことを期すべし而して諸子は又深く其の任務の重大なるを自覺し益々研鑽を重ね經驗を積み實踐躬行以て生徒の儀表たらむことを期すると共に部下を指導し同僚相誡しめ協力一致以て優良なる校風を扶植し最善の感化を生徒に及ぼさむことを要す空理を談じ安逸に耽り浮華に流れむとするは朝鮮從來の弊風なりされば平素意を訓育に用ひ其の授くる所は卑近實用を旨とし殊に力を實科教育に注ぎ實業を尙び勤勞を愛するの良習慣を養成せむとに注意すべし國民にして規律を重むじ節制を尊ぶの風薄からむか國家の安寧幸福は遂に得て望むべからず然るに學校に於て往々校規を紊る者あるを見るは本總督の頗る遺憾とする所なり諸子宜しく此の點に留意し朝鮮在來の美風良俗は之を尊重保持すると共に力めて自制克己の德を養ひ公私の秩序を重むずるの氣風を馴致すべし朝鮮の民度は漸次改善の域に進みつゝありと雖も未だ其の發程の第一歩たるに過ぎず故に學校の設備の如き固より完璧を望むべきにあらず須らく用を節し費を省き其の足らざるものあるも勉めて之を忍び出來得る限り教員の努力に依りて之を補ふの方法を講ぜざるべからず

近時朝鮮に於ける國語の普及著しきものあり隨つて內地人にして朝鮮語を解せざるも日常生活上敢て支障無きが如き場合少からず又學校に於ては教授法其宜しきに適ひ生徒の國語力頗る增進し朝鮮語を用ひざるも教育上殆んど不便無きが如きものあるを以て內地人教員にして動もすれば朝鮮語の學習を閑却する者少からず是れ寔に遺憾とする所なり教員にして親しく父兄鄉黨に接觸して生徒の訓育に資すると共に社會教化の實を擧げんには必ずや朝鮮語の力に俟たざるべからず加之幼年の生徒を訓誨するに當り通譯又は生徒の國語力にのみ依らむとするが如きは固より訓育の徹底を期する所以に非ず是を以て本講習會に於ては最多の時數を特に朝鮮語に配當せり諸子は本講習會に於て學習せる所に基き益々之が熟達に努め教育上に利用せむことを期すべし本總督が教員心得を示したる所以のものは朝鮮に於ける教育者の任務の重大なるに顧み其の歸嚮する所を知らしめ以て教育の目的を貫徹せしめむがために外ならず諸子能く其の示す所に則り本講習會に於て得たる所を活用し倂に教授訓育の方案を講究實施し以て其の任務を完うせむことに努むべし

媾和運動と交戰國意嚮

華盛頓來電に曰く、ウイルソン氏昵近者の說に據れば大統領は敢て交戰國の何れよりかの要求を待たず積極的に媾和斡旋の希望あり從つて愛に平和促進會席上にて試みたる演說に對する交戰各國に於ける反響の如何を調査したる上近く愈其の運動に著手す可きか又は尙暫く戰局の成行を見て著手す可きかを決す可し(紐育電報)

獨逸の媾和協議か

葡萄牙來電に曰く、獨逸宰相ベートマン、ホルウエッヒ氏は媾和談判の基礎として アルサス、ローレンの一部を抛棄す可き提案を出ださんとし南方獨逸聯邦と協議し居れりと信ず可き確なる理由あり(倫敦電報)

希對勃正式抗議提出

希臘政府は勃牙利軍が希臘の領土を侵害せしに對し正式に抗議を提出せり(倫敦電報)

湖南獨立別報

湖南省長沙は二十八日夜愈々獨立を宣言せりとの確報あり湯薌銘氏推されて都督と爲り市民は國旗を揭げ祝意を表せり(漢口電報)

大田と人士往來

石渡和田の兩貴族院議員は卅一日午後零時二十五分著列車にて來田同一時三十分湖南線列車に搭乘して群山に向ひたるが中村農商工部技師は裡里驛まで同車したり又京城より歸任の途に在る中山大郎覆審法院長午後零時半通過せり(大田特電)

寺內總督視察

寺內總督は三十一日午前八時高橋武官大藤副官等を隨へ自動車を驅つて京城高等普通學校に赴き公立普通學校長講習會の講習狀況視察の上一場の訓示を與へ九時歸廳したるが當日は宇佐美內務部長官關屋學務局長弓削學務課長等も臨席せり

總督茶菓饗應

寺內總督は三日午後典獄會議列席者一同を官邸に招待し茶菓の饗應を爲す可しと

▲講習會一同

公立普通學校長講習會は三十一日午後二時終了せるより寺內總督は講習生並に講師一同を同日午後三時西大門倶樂部に招き茶菓の饗應ありたり

關稅訴願審查

關稅訴願審查會は六月五日午後二時より總督府第一會議室に開會審查委員長山縣政務總監以下石塚長官荒井長官國分長官秋山參事官等の各委員列席審查す可しと

典獄會議(第三日)

典獄會議第三日は前日に引續き三十一日午前九時より總督府第一會議室に開會、總督府側よりは寺內總督、山縣政務總監以下關係各部長官局長課長等參列し國分司法部長官統裁の下に直に日程に入り午前は提出意見午後は協議ありて四時散會したり

國分長官張宴

國分司法部長官は六月一日午後七時より典獄會議に列席せる檢事長並に典獄一同を官邸に招待晚餐會を催す筈なり

參謀旅行一部入京

滿洲に於て解散したる參謀旅行團中參謀本部々員谷川步兵少佐、第一師團參謀芦澤步兵少佐、騎兵實施學校教官高波騎兵大尉の諸氏は三十日入京し又た參謀本部部員淺田砲兵少佐、廣島灣要塞參謀入江砲兵少佐、東京灣要塞參謀奧野砲兵少佐、第十四師團參謀神村步兵少佐の五氏は三十一日朝南大門驛著汽車にて入京、夫れ〴〵總督府を訪問したるが一行は一日朝南大門驛發汽車にて退京の豫定

軍司令官歸期

南鮮各守備隊檢閱中の駐剳軍司令官井口中將は六月五日を以て豫定通り龍山歸著の筈なり

芳賀院長歸任

公務を帶びて內地に出張中なりし總督府醫院長芳賀醫學博士は三十一日午後九時南大門驛著汽車にて歸任の筈なり

公醫講習會開講式

六月一日より開始すべき警務總監部主催全鮮公醫講習會開講式は三十一日午前九時講習會員三十九名其他憲兵隊司令部警務總監部の關係者出席して擧行山形憲兵大佐の古海警務總長代理としての一場の訓示ありたり

教員講習會閉會式

京城高等普通學校附屬臨時教員養成所に於て開會中なりし公立普通學校內地人教員講習會は三十一日午後三時より閉會式を擧行したり當日は宇佐美長官關屋局長小田司計の兩課長秋山太田の兩視學官其他出席し關屋局長より一場の訓示あり引續き四時より西大門倶樂部に於て茶話會を催し散會したり

火災豫防講演

警務總監部構庭に於て三十一日午前八時火災豫防に關する實地講演會を開催し古海警務總長不在の爲め山形大佐以下憲兵隊司令部警務總監部各課長其他全部參集大橋憲兵少佐の火災豫防に關する綱領に就ての講演あり次いで京畿道消防主任小熊警部の消火器使用に就き實地講演する所あり其より寶田京畿道警務技手の火災の場合に於ける電線に對する注意すべき點に就き詳細なる講演をなし午前十一時解散せり

●總監部講演會休會 警務總監部憲兵隊司令部恒例講演會第十一回は三十一日開催の筈なりしが火災豫防に關する實地講演ありたる爲休會せり

荒井長官出張

荒井度支部長官は平井專賣課長を隨へ人蔘耕作者褒賞授與式に臨場の爲め六月一日開城へ出張の筈

●人蔘耕作者表彰式 度支部專賣課開城出張所に於ける人蔘耕作者に對する褒賞授與式は愈々一日午後一時を以て擧行せらる可し

府郡主任書記會議

京畿道各府郡主任書記會議は愈々來る六月二十六日より數日間道廳賓化堂に於て開會のことに決定せりと

松永長官視察

松永京畿道長官は三十日京城府の視察を終了したるを以て三十一日は京城府龍山出張所及び學校を視察し更に麻浦附近の道路を巡視せり

辭令

鐵道局技師 河內明輝

正六位勳六等 同 上 松田一雄

敍勳五等授瑞寶章

●成田高女校長內地視察 京城高等女學校長成田忠良氏は北陸及び東京方面に於ける學事狀況の視察を命ぜられ三十一日午後七時五十分南大門發列車にて出發し往復約四週間の豫定なり

●田中氏へ記念品寄贈 前水原慈惠醫院長田中德三郎氏に對し京畿道警務部憲兵隊警察官の有志者は今回立派なる銀瓶壹個を記念として贈呈せり

仁川

▲崇敬者總代會 三十日午後四時より大神宮社務所に於て崇敬者總代會開會先づ會長の互選を行ひ滿場一致にて奧田氏當選し次に幹事三名互選の結果美濃谷、長野、丁致國の三氏當選せり役員選擧終了後引續き協議會に移り事務集金人を置くの可否の件は大正五年度より二名を置く事に又大正五年度より神社費釀出割合を府戶別稅額に準據する事に議決し午後七時閉會せり▲消防隊演習 仁川消防隊は常備消防手總出にて松元警察署長指揮の下に來る三日午前十時より東公園にて春季消防演習を催すべし

平壤

▲司法官歸任 司法官會議の爲め出京中なりし伊藤檢事正は五月三十日午後三時、勅使河原地方法院長は三十一日午後三時四時何れも歸任したり▲法院出張所 法院出張所を新設する事に決定し調査中平安南道江西郡邑內面に地方法院出張所新築調査の爲め九日該出張所へ出發せり▲霜害程度 五月二十八日の降霜に對する平壤附近の農作物被害は降霜時間短かゝりし爲め大した被害なかりしと

元山

▲築港狀況 最近に於ける元山築港狀況に就き聞く所に依れば目下工事中なるは埋築工事と防波堤の捨石及び斜路新設工事等にして就中埋築工事は豫定の如く進捗しつゝありて昨今陸上よりの土砂運搬を中止し赤田川尻より海上を運搬し每日平均五十坪乃至六十坪宛の進捗を見る有樣にて今日迄に埋築を了せる坪數は二千坪餘に上り居れり防波堤捨石工事は著手後種々なる事情の爲め工事の進行捗々しからずして目下僅に四百坪餘の捨石を了したるに過ぎずと雖も本月末頃に至らば諸般の準備整頓するを以て來月初旬より該工事の進捗を見るに至るべし斜路工事は埋築地上に建設する工場より海面に向ひ混凝土運搬の目的にて斜路を新設すべく著手したるものにて目下買入れ中なる材料の出揃ひを俟ちて順次工事の進捗を圖る豫定なりと▲軍隊通過 步兵第六十九聯隊第一大隊將校二十名下士卒一百八名合計二百九名は二十六日午後四時四十五分著列車にて來著し同夜は元山に一泊の上翌二十七日朝出帆の御用船松山丸にて出發歸還の途に就きたるが今回は交代軍隊最終の通過なるを以て市民の送迎頗る盛んなりき

高原

▲東拓移民狀況 高原郡に於ける東拓移民は目下十三戶となり居れるが移住當時一兩年は作法の相異氣候の關係等を顧みず全然內地式の作法に依れる爲め失敗に歸したるも爾後數年の經驗に因り土地の習慣氣候及び土質の關係等を會得すると共に朝鮮式に耕作を爲し種子の選定其他諸般の改良を加へ來れるを以て鮮人の作物に比し些の遜色なきものを出すに至れり目下移民は當代の播種を終り施肥耕耘に忙殺されつゝあり

大田

▲麥作良好 大田地方に於ける麥作は出穗時期に於ける氣候順良なりし爲め其後の經過頗る良好にて例年に比し最低二三分最高一割乃至二割の增收を見るべく一般農家は歡喜し居れり▲高商生徒通過 山口縣高等商業學校生徒五十名は職員二名に引率せられ三十日零時二十五分通過釜山に向へり聞く所に據れば一名の落伍者もなく頗る元氣旺盛なりと▲驛貨物多忙 鐵道便に由る滿洲より內地に仕向けし大豆粕約三千噸輸送の爲太田驛は非常の多忙を極め居れるが他の貨物輸送には支障を來し居らずと▲藤井慈惠醫院長 水原慈惠醫院長藤井班象氏は三十日來田即日全州に向け出發せり

人事消息

▲島田虎也太氏(平壤覆審法院長) 卅一日朝發平壤へ ▲前田慧雲博士 同上仁川へ ▲石渡敏一氏(貴族院議員) 同上群山へ ▲和田彥四郞氏(同上) 同上

▲上野寛二氏(金化守備隊步兵大尉) 三十日入京不知火旅館へ ▲谷川步兵少佐 三十日入京清光館へ ▲芦澤步兵少佐 同上 ▲高波騎兵大尉 同上 ▲小宮步兵少佐 同上 ▲追間房太郎氏(釜山商業會議所會頭) 三十一日午前入京巴城館へ ▲中村總督府技師 三十一日午前裡里へ ▲谷口芳郎氏(平北觀察家) 一日朝入京天眞樓へ投宿の筈 ▲馬詰次男氏(東亞煙草朝鮮總販賣所長) 卅日にて今朝南大門發東京へ ▲津田口元學氏(朝鮮殖銀社長) 三十日午前釜山旅館へ ▲佐藤潤象氏(同取締役) 同上 ▲佐野領治氏(海軍主計大監) 三十日午前內地より釜山上陸馬山へ ▲外波辰次郞氏(德山煉炭所長) 海軍機關大佐 三十日午後內地より釜山上陸平壤へ

宵嵐

○四百餘洲殊に今年や宵嵐 大塊

○座頭行く編笠危し宵嵐 虎耳

○白衣人連る〻新橋や宵嵐

平和運動と獨の豫測

獨逸にては米國の開始せる平和運動が今秋中に成功すべしと豫測し居れりと(東京電報)

袁總統と馮の態度

袁總統は馮國璋昨今の態度を怪しみ張勳及び倪嗣冲等に之を監たしめんと策謀を廻らし居れりと(上海電報)

駐支公使に訓電 山東問題の擴大か

三十日午後一時半より大隈首相、石井外相、大島陸相及び武富藏相は鳩首凝議する所あり會議の結果石井外相より日置駐支公使に對し訓電を發したるが或は山東問題の擴大したるにあらざるか(東京電報)

山東守備地の擴張

山東省內は全く無政府の狀態に在り各地共不穩の情勢を持續し何時事變の勃發を見るや測り難きものあるを以て我當局に於ては在留邦人保護の自衛上山東省に於ける守備隊の守備地點を擴張し濟南府其他に備ふる事に決せりと(東京電報)

段芝貴の派遣 對日本緩和策

北京政府は前奉天將軍段芝貴を山東省に派遣し新將軍に代りて治安の恢復を圖らしむべし是れ段が比較的日本の事情に通じ日本官民と交遊あるを利用し日本政府の強硬なる要求を緩和せん爲なるが如しと

北軍南征決行說

北京政府は豫期の如く南軍が飽く迄妥協を排斥せるを以て愈々南征の議を決し先づ陝西省潼關方面より西安府を衝くべしと傳へらる(北京電報)

大隈內閣倒潰 袁總統の日本籠絡策

袁總統は日本の元老等を說き自己に不利なる大隈內閣を倒潰し內閣交迭に依つて日本を傀く迄籠絡せんと企劃中なりと傳へらる(北京電報)

尾崎氏上海行

帝國飛行協會民間飛行家尾崎行輝氏は廿九日東京發上海に向ひたるが渡上の目的は孫逸仙の部下に對し飛行を傳習する爲めなりと(東京電報)

露領漁業調査

農商務省越田技師及び鹿沼技手等は這回農商務省より東亞露領漁業調查の爲め露領沿海州に派遣されたり

工場法延期懲戒

工場法施行延期に伴ひ勅令改廢の責任上關係當局は懲戒處分を受くるに至るべしと(東京電報)

藥種商の悲境

昨年末の藥劑暴騰により巨利を博し俄に成金となれる藥種商は今次の藥價暴落により大打擊を蒙り頻々として破産の悲境に陷りつゝあり(東京電報)

貝島翁危篤

福岡縣の炭鑛王貝島太助翁病氣療養中の處全く危篤に陷れり(門司電報)

物品拂下廣告

第一號 油繪類及額椽 第二號 三味線及袋(天袋) 第三號 化粧品類 第四號 甲斐絹 第五號 藥品類

右來ル六月二日午後一時京城稅關出張所ニ於テ入札賣却ス

大正五年五月卅一日 仁川稅關

鹿兒島縣人に告ぐ

在京龍鹿兒島人會を開く多數奮て御出席を乞ふ

一日時 三日午後六時 一會場 永樂町二丁目清華亭 一會費 壹圓五拾錢當日御持參 一申込 櫻井町池上醫院 電話一二七一番へ

謹告

六月三日午後四時龍山瑞龍寺に於て故朝鮮通信社長友枝英三郎氏一週年追悼會を擧行致候間御參會被成下度此段生前辱知諸彥に謹告候也

追而御出席の有無二日までに御通知被下度候尙會費金五拾錢當日御持參の事

大正五年六月一日

發起者 京城日報社 朝鮮新聞社 日本電報通信社 京城通信社

夏物大賣出し

果樹害病虫驅除豫防藥

苹果黑星病、苹樹梨樹褐斑病、桃縮葉病、葡萄黑痘病、腐爛病、介殼虫、蚜虫、赤ダニ、綿虫等驅除豫防の好時節

牛田式噴霧器一手特約品

果實掛袋製造品

平壤府停車場通 平安攻玉園販賣部 電話二六四番 振替京城一四五五番

寫眞

寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版

最も熟練せる技術を以て最も迅速と可成親切を旨とし御高需に應ず

京城日報社 寫眞製版部

因縁深き七星門

文祿役と日露陸戰の最初の砲火は此處で開かれた

平壤の七星門が日露陸戰の第一砲火を開きたる處である事は過日の京城日報に見ねましたが不思議にも此の七星門は文祿役の際にも

◇日本兵と明の援軍と第一の砲火を交へた處である小西行長の率ゐる二萬の精兵は破竹の勢を以て北進し文祿元年六月十五日を以て大同江の流を渡渉し一皷して

◇平壤城を陷れた此時日本軍の渡渉したる地點は今の平壤水源池のある綾羅島の上流王城灘の淺瀬と今一手は同島の下流に當る青銀灘及び白銀灘の淺瀬を渡たのである

◇小西行長は城に入り市街の秩序を恢復し威武を耀かせて居つた此の時明よりは朝鮮王の請に由り祖承訓を大將として兵七千を授け進き援けしめた祖承訓は非常に日本兵を侮り朝鮮の使者に對して

◇壯言して云ふのに吾が眼から見れば日本人の如きは蟻か蚊の如きものである吾は曾て三十人の騎兵を率ひて十萬の滿洲軍を打破り之れを蹂躪して大勝を得た事がある之れに比ぶれば僅ばかりの日本兵は

◇一匹の蟻を踏み潰すよりも猶容易であると豪語し七月十八日に平壤の北順安に著し十八日夜半に順安を發し同夜五十韓里を夜强行軍にて十九日朝平壤普通門に著いた見ると城には一人の日本兵も見ねず

◇旗一本も樹てゝない炊煙揚らず闃として靜まり返つて居る、之れを見たる祖承訓は馬上ながら大いに嘲笑して曰く我が精兵來り援くると聞き見よ日本軍は既に一戰に及ばず逃散したりと直ちに普通門より市街に進入し平壤城に

◇亂入せんとして七星門に近寄ると豫て圖りし日本兵は民家の壁に穿ちたる無數の小穴より雨霰れの如く小銃を打ち掛けたるより明軍は右往左往に散亂し副將軍史儒は

◇先づ斃れ部將載朝弁、馬世隆、張世忠等打取らるゝ者數を知らず七千の軍勢中生殘りたる者は僅かに二千此の日朝より夕に至るまで豪雨滿の如くに降り道路泥濘海の如く明の敗兵は

◇進退自由を失ひ日本軍に追撃せられ討ち殺さるゝ者算を亂して雨中に漂ひ淒慘の極みなりしと祖承訓は此の大敗に怖れを爲し身を以て脱し一日の内に三百韓里を逃れ歸りたる事は

◇李朝實錄の記す處なり其後行長は翌年文祿二年正月迄平壤を守つて居つたが祖承訓の大敗に明廷震駭し更に李如松を提督として十萬の兵を以て來援し李如松と行長は普通門外及び市外にて激烈なる戰鬪を交へたる後一月六日七日八日の

◇三日間を以て大同門外より船を艤して大同江を渡りて京城に引揚げたる等の古戰場は今猶歷々と指點し得べきなり(加藤郁郎氏談)

■久し振の優勝旗 四年振りに優勝旗を受取りたる西方にては太刀山部屋にて祝宴を催せり(向つて右より太刀山より旗手大戸平、伊勢ノ濱、黒瀬川、青の海)

支那見物

天下一品の女客車 伜は英國孫は獨逸 清釜太郎氏談

今度の支那視察は新聞を讀む素地を造る爲めで其れ以外には何の目的も無ければ意味も無い、御承知の通り彼地は一種不可思議な國だから新聞を讀むにしても一度實地を見、實際を調べて置かぬと却々見當がつかぬ其處で今度は臺灣から廈門に渡り廣東を見、漢口に行つて

▽北京より更に滿洲方面を見物した譯である、却說廈門は福建省の一部で日本の勢力範圍だといふけれども行つて見ると左樣とは思へない、此の地の住民約四千中其過半を占めて居るのは籍民といつて籍を臺灣に置く支那人で其他は英、佛、獨と思ひ〳〵の籍をもつてゐる、幷して官憲などが少し六ケ敷いことを云ふと俺は日本人だと主張して一向取り合はない、然し其れが甚だ曖昧な日本人で親は籍民でも息子は英國、孫は獨逸女房は支那といつた風だから堪まらぬ從つて此地は革命黨の勢力圏だといふが住民は

▽事面倒と見ると都合のいゝ國旗を振り廻はすので兩軍ともに手を出すことが出來ぬ、此地に限つて戰爭抔は到底も出來ぬと思はれてゐる、其れから廣東省に入つて汕頭に行く、此地には意溪まで二十五哩間に鐵道があるが此鐵道は天下一品の

▽男女七歳にして席を同じうせず 男女を區別し女客車といふのを設けてゐる、初めは男女混合だつたのだけれど共れでは一人も女客が無いので遂に區別する樣になつた、之れは一例のてふ慣習から來たのだが、さらば其他の禮儀は行はれ道德は重せられてゐるかといふと左樣でない、自分が著いた三四日前此處で一人の革命黨員が殺された、首も胴も大道に轉がつてゐるけれども禍を恐れて誰れも顧るものが無い、三日も四日も晒されたまゝ末到頭日本の坊さんが引き取つて寺に埋めてやつた、又た楊子江の中央邊りに九江といふ處があるが此處の將軍李純が

▽革命黨に傾むきかゝつたといふ噂が立つたので安徽の將軍張勳が李氏の

平壤遊覽會

設備

新緑の柳京！ 古戰場の平壤！ 六月四日の日曜日をトし我社の主催で形勝の牡丹臺附近一帶を遊覽地として晝間は素人相撲、日鮮藝妓手踊等の餘興淳山。夜間は平壤名物の觀火會及び數十番の仕掛花火、打揚花火。翌五日は舊五のお節句にて朝鮮側では婿選び嫁選びの黃道吉日一年に一度の大賑合です

特典

朝鮮鐵道局では我社今回の計畫に特に賛同せられ、特に最も低廉なる賃金にて三日より六日迄の使用期限ある往復切符を發賣し往途は臨時列車、歸りは期間內勝手に列車の撰擇を許されました然らして切符は六月一日から南大門、龍山、仁川の三驛から發賣され五枚以上は電話(南大門驛)で御申込あれば直に配達します

◈六月三日(土曜)午後十一時南大門驛發
◈往復汽車賃三圓五十錢(仁川四圓)

臨時列車運轉

白晝海賊

露式銃を擬し支那船を襲ふ

二十五日午後三時頃大長山島西方約十支里の海上に顯はれたる五名の海賊あり三十石積の戎克に乘り露式銃拳銃各一挺を持ち四石積戎克に乘りて通り掛りし小長山島會巴蛸島船乘業董學増の船を追蹤し蟶蟥島東方十五支里の箇所にて停船を命じ一名渉乘して露式銃を擬して蜑等を脅迫し現銀三十五圓乾海鼠二十斤貝柱五斤雜魚十斤を强奪して花園口方面に逃げ去りたるが二十六日午前十時頃再び營口島東南方五浬里の海上に現はれ廣鹿島寄寺院溝二十二番戶玉慶善外三名乘組の舢板を追蹤し蟶蟥島東南方二十浬里の個所にて停船を命じ拳銃を放つて脅迫し現銀九十三圓を强奪して花園口方面に逃去りたり報に依り皮子窩出張所にては直ちに管內一帶に亙り非常を戒め居れるが賊は神出鬼沒にして未だ就縛に至らずと因みに前記被害者は何れも五月節句の食料品買出に趣く途中に厄に遭ひたるものなり(大連)

世を儚みて自殺

京城光熙町二丁目崔英默(三三)は三十日午後二時半頃自宅溫突內にて小刀にて前頸部を掻き切り苦悶し居れるを外出先より歸宅したる倅根成が

大猪を射止む

慶北英陽郡青杞面李花洞地内へ近來猪頻々として出沒し農作物を害する事甚だしく同地農民は如何にかしてこれを驅除せんものと協議したる結果其の筋の協力を得て猪狩りを行ふ事に決し此旨同憲兵出張所に願出で出張所より憲兵補助員二名出張し去る二十四日洞民と協力し猪の棲息地なる同地白雲山を包圍し漸次に山麓より狩り立てたる處山中より大猪五頭飛び出したるより補助員は發砲したる處五頭中の一頭を美事に打ち倒し一頭を負傷せしめたるも他の一頭は日月山方面に向つて逃走したりと射殺したる大猪は實に四十五貫に餘る代物なりしと

河豚の中毒

鎭南浦府芝山里七統九戶日稼根永根の長男長孫(三)と云ふが廿九日市中に來りて所々の塵箱を漁り何處よりか河豚の臓腑六七個を拾うて持ち歸りたるを母親は好い物を持つて歸つたと料理して親子四人が晩食に食したるに程なく四人共腹痛を起し苦悶の最中稼ぎ先より歸つた亭主が驚き種々手當をなしたれど其甲斐なく同夜十二時頃何れも死亡したる由

小兒の溺死

高陽郡纛島面之英里劉鳳雲長男永吉(三)は二十五日午後七時頃自宅附近の井戶に墜落し溺死を遂げたり係員出張し檢視の上屍體は實父へ

夏季衞生訓示

京城鍾路警察署にては三十日當非常巡査全部を本署に召集し松井署長より夏季衞生に關する訓示並に田中京城府囑託の腦脚氣講話ありたり

戰のあと

東京大相撲總評

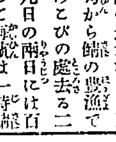
□新入幕若武者の初陣振り

西方では太刀山が栃木に功名を成さしめたのみで依然として優勝額の數を加へたのは矢張り豪い、下り坂のやうにも見ゆるけれどもそれは極く極く緩傾斜の下り坂でなければならない、伊勢の濱に至つては僕等は子供の時分から見せられてゐる

▽彼の角力振りに比較的元氣だと傳へられた今場所に於ける敬意を表するものだけれども、比ろダラシなさは一體何うした事だ、最もその立合の意氣には相變らず僕等をして滿足を表さしむる點が無いではないけれども老境に入つた形跡は歷々としてゐる悲しい言葉だが大關を汇べるか張退か、鬼に角厄介な大關になつてしまつたものだ、彼のために切に發奮を望まざるを得ない、大蛇は又しても鈍骨を臆面もなく曝げ出し、浦の潮は折角大錦を倒して金星を輝かしたけれども黑光りさへ發しない不耀星のために掩ひ蠹されて大錦以後は炭團屋に商賣替をしてしまつた、色男に生れついて角力取には成りたくないものだといふ事を此の男が

▽いつも吾々に感銘させる、石山は矢張り江戶前のキビ〳〵した角力を取つて出ず入らずの危ない橋を渡り玉手山はハラ〳〵させ乍ら玉椿式の星を殘した、元氣だ元氣だと言はれた大鳴門が案外振はなかつたのは滑稽だが改名に氣をよくした大戸平に弟分の眞砂石が揃つて優勝し寒玉子更場所に腐りもせず千年、柏戸の齋藤實盛と共に功名手柄を現はしたのは金の北改め大戸平に次いで僕等の大好きな部に屬する名力士土州山が新入幕の紅葉川敷島の若武者の鮮かな初陣振りと並んで

▽前場所の恥辱を雪いたのにも劣らず見物だつた、いい年をして角力が止られぬのも故ありといふべしだ



巨濟島の長承浦では五月初旬から鯖の豊漁で大よろこびの處去る二十八九日の兩日には百萬餘尾の大漁があつて海濱は一時鯖の山を築いた相な▲鎭海の海軍記念日には第三艦隊と要港部との端艇競漕があるやら陸上相撲があるやら非常な大賑はひであつた▲元山では鮮人街の公立小學校分校附近の軒下から大きな金鑛を發見した▲初夏の小鳥はうぐひす、のじこ、こま鳥の類がよろし、殊にのじこの涼し相な囀聲がうれし

骨董の話

◇安く落ちた名幅◇ ◇負惜み連の祝盃◇

▽商喜三幅對は孔子、顔回、子路の三像で探幽より傳來といへば其者の涎を流す所謂玄人好の名幅で金高蒔繪の箱入といふ立派な御道具であるに八千百圓の廉價とは之れにも道理がある、伊達家では價の幾何に拘らず三幅對を一點だけ寶愛すこといふ說が立つた時聖賢の像だから此幅でもあらうと勝手に決めて

▽勝手に札を入れぬ者が多かつた御蔭を蒙つて安い品を手にした長井某は近日知己を招いて祝賀式を擧げると大した騷ぎで噂さとりぐ、斯んな福之神を迎へた連中に引換へて一品も手に入れ得なかつた落第の面々にも隨分一流の名士がゐるので今村繁三氏が急先鋒となつて頻りに目論んで居る事がある

▽土付かず會と稱して珍な趣向を工夫し近日華々しく開莚する筈だが其言草は斯うである東覺會で品物を背負ひ込まなかつたのはお互の僥倖であるから祝盃を擧げやうといふのだが早く言へば負惜みの計畫であらう(をはり)

醫生と講話 京城本町警察署にては毎月例に依り三十一日午…

他人の褌で相撲 平南大同郡龍山面龍浦里無職金圓國(三)は…代金の内數十圓を詐取し居た…

…派と稱する事となり更に入京したる…が六月一日午後八時より…

…れ溺死を遂げ行衛不明となりたるが二三日前三里餘の下流に屍體漂著し…

…の中に釜、食器二三點殘存せるの…にて所有主不明なれば同地警察派…

宇治製茶直接販賣廣告(小包)

一 相場の如何に不拘宇治製茶場特製品を以てする事
二 正價を以て親切を旨とし廣告と現品と表裏なき事
三 目方及荷造を嚴にし迅速に貴需に應ずる事

御茶銘並に定價表(各一斤百六十匁に付)

玉露之部
千羽の鶴 金五圓
龜齡 金三圓
老松 金二圓
寒竹 金一圓五十錢
白梅 金一圓二十錢
高砂 金九十錢

煎茶之部
富士 金一圓
池の尾 金二十錢
大福 金八十錢
堀井の園 金七十錢

正喜撰 金六十錢
喜撰 金五十錢
青柳 金四十錢
川柳 金卅錢

濃茶之部(此部のみ十匁に付 換上げは二割增)
初昔 金四十錢
後昔 金三十錢

薄茶之部(換上げ二割增)
極詰 金三圓

上別儀 金一圓六十錢
別儀 金二十錢
折物之部
折鷹 金九十錢
上雁 金七十錢
雁が音 金六拾錢
粉茶之部
玉露粉 金一圓二十錢
玉眞粉 金七十錢
葉花粉 金七十錢
玉花粉 金四十錢
煎粉 金三十錢
玉粉 金五錢

右之外御注文に應じ何品にても調進仕候
振替口座御依賴に茶銘、斤數御拂込金、氏名を明記して御送金の事
壹斤以上御注文は箱代無代金にて小包郵便は凡て一斤以上鑵入とす但し四半斤は一圓以上にて鑵詰御入用の節は鑵代を申受く
當地及近郊へは若干の御買上にても進物に適する茶は箱代實費申受く
郵送中破損の節は總て御負擔のこと
豫め御承知置を願ふ
御買上品及斤數遠近等により箱入致候節は箱代實費申受く

正價より特に五步引仕候
千羽の鶴 龜齡 老松 寒竹 白梅 高砂 富士 池の尾 大福 堀井の園 販賣手續

山城長池郵便局區內青谷村 本店 堀井園 堀井喜之輔 電話長池十四番 振替大阪七二九九番

景品附「抽籤」「引換」期日變更

福の神の行衛は何方!!

愛飲家各位の御同情に依り期日以前に締切斷行の已むべからざる空前の盛況を呈した

國産 サッポロビール アサヒビール

景品附大賣出し抽籤及引換期日を左の通變更致候間謹告候也

抽籤期日 六月二十日
引換期日 自七月一日至同三十一日

大日本麥酒株式會社 京城出張所

内科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話專用二七二九番 三三三

製鹽開業披露

各種食鹽

今般左記の處に於て開業特別廉價を以て御相談に應じ候間多少共御用命願上候
追而京城方面の御注文は電話九四一番に御用命を乞ふ

龍山元町四丁目
穀物委託販賣 龍山製鹽所 電話四〇七番

(三) 第三千三百三十五號 （明治卅九年八月十日第三種郵便物認可） 京城日報 大正五年六月一日（木曜日）（夕刊）

京城にある支那婦人

□京城にある支那の婦人は總數約二百餘名、男の人は澤山來て居ますけれども婦人の配偶者を伴れた人は極めて尠なうございますから從つて婦人の數も尠ない譯でございます

□街では往々纏足した歩行困難な婦人を見ることもありますが滿洲生れの婦人は概して自然のまゝの足を有つて居ます

□支那の婦人は朝鮮と同じくなかなか表へ出ることを致しませぬ、從つて社交界へ出るやうなことは滅多にございませぬ

□京城にある支那婦人としては領事富士英氏の令閨陳蘭英夫人並びに張翻譯官夫人、實業家林澤成氏夫人が主腦者となつて居られます

□領事夫人と林氏夫人とはどちらも上海の女學校を卒業された方で張翻譯官の夫人は嘗て日本及び米國に留學した才媛でございます

□支那では他家へ嫁づきましても猶ほ自分の姓を名乘る習慣があります例へば富士英氏夫人でも他へ對しては富門陳氏と呼ぶやうです

□婦人の名前には日本や朝鮮と同じく可愛らしい花の名などをとつたものが多く蘭とか菊とかのゆかしい名前からお雪さん多子さんといつたやうな名前もあります

□併し日本のやうに千代子とか延子とかいふやうな名はございませぬ

日の出夜學校

□生徒は髯の紳士□ □小さい小僧さん□

□昨年十一月から府内日の出小學校に設けられた簡易商業專修學校の夜學會は此の五月からいよいよ公立の學校となりました

□此の學校は主に商店の小僧さんやお役所の給仕さんなどの爲めに設けられたもので毎週月水金の三回に國語、簿記、鮮語、ロシヤ語を敎へ火木土の三回に算術、珠算、英語を敎へて居ます。

□生徒は右の内一科目のみを選むで勉強することになつてゐますが毎日出席する人は二科目勉強能きます

□昨今は午後七時半から九時半まで二時間の敎授時間となつて居ますが鮮語ロシヤ語には髯の紳士や官吏の人達もありなかなか面白い學校です

□敎師には鮮語に李種植先生ありロシヤ語に太田三孝先生あり英語に正井芳樹先生あり何れも立派な人達です、修業期間は僅かに六箇月間で月謝五十錢です

□牡丹と茶目　めちや吉

『庭の牡丹餘りに美事に咲へば一枝御目にかけまゐらせ候かしく、とん子より、てれ子樣』と書いた手紙と、牡丹の切花をてれ子樣のお宅まで持つてらつしやいと、とん子姉さんから命合つた茶目君、又お駄賃がもらへる、然し何だらうか、難儀だらうかと夢中で石段の三つ二つ一躍ぎで飛び出し駈け出し、てれ子樣のお宅へ着いた頃は、さしも見事だつた牡丹も餘り駈け出した爲め悉皆落つこつてしまつてゐた。

印度が生むだ寶玉の如き大詩人

□詩聖タゴール氏は愈よ日本に來ました□

◇印度の詩聖タゴール氏は愈よ廿九日神戸入港の郵船土佐丸で日本に來ました

◇タゴールといふ人は印度が有つた偉大なる思想家で而して詩人であります

◇世界の人は曾て此の詩聖がノーベル賞金をもらつてから俄かに評判するやうになりましたが詩聖は實に印度人がむかしから國の誇りとする寶玉のやうな人でありました

◇タゴールといふ人は既にその御父さんも印度の大聖と尊敬された程の人でありまして立派な貴族の家に生れた人であります

◇ひなげしの咲くベンガルの沃野と水清きガンヂスの流れと北方に白きヒマラヤの連峰とは此の大詩人を育てました

◇詩聖は實に十二三歲の少年時代から印度の文學界に喧傳された長詩を作つて居ます

◇併し此の大詩人の詩想が渾然として醇化されたのは聖河の流れ添うたシライダの土地に棲つてからであります

◇其處ではお父さんの命によりタゴール家の田地監督といふ仕事を有つて居ましたが純朴な印度の田園生活と赤道直下の太陽とはいよいよ詩人を偉大なるものにして了ひました

◇詩聖は平素彼の一門が印度の國都カルカツタ市の宏壯華麗なるタゴール城に住むでゐるにも拘らず自ら好むでシヤンテニケタン（平和郷）と呼ぶ觧かな田舍にかくれて居ます

◇家は非常に簡素なもので居室は僅に六疊敷そこの叩土の二階に裝飾も何にも無い一脚の粗末な机をおいて平氣で居ますしかもそれが詩人の大好きな日本の大工の手になつたものだと云ひます

◇此の世界の大詩人が豫て極東の日本を愛して居ると云ふのは有名なもので道回もいよいよなつかしい日本の國土を踏むで心ゆくばかりにいろいろなことを觀察して行くことでありませう

神社と敎會とお寺

◉淑明女學校生徒の參觀　私立淑明女學校生徒一同は廿一日午前中南山高等女學校を參觀しました

◉廣田校長敍勳　釜山中學校長廣田直三郎先生は今回勳五等に敍され瑞寶章を賜りました

▲曹洞宗別院（若草町）　六月一日より三日まで毎夜八時より滿鳳佛敎講會あり

▲西本願寺　豫て入京中の前田文學博士は卅一日午前八時五十三分の列車にて仁川へ向ふ、同博士の全羽にて支那布敎監督大連西本願寺輪番……

番茶のあと

▲このごろ街には紅いおいしさうな西洋苺が澤山出ました、鷺島の東拓農場あたりでは初夏の畑に露を帶びた紅い實が緑にきれいに見られます ▲過般自動車の爲めに負傷された氣の毒な久野ひさ子さんはこんど平癒されて再び東京音樂學校に復活されました去る廿八日の音樂會では新歸朝者の小倉すゑ子女史と共に非常な成功でございました

■烏賊の木の芽燒　烏賊を一寸幅二寸位の大さに切り之に布目を入れ醤油と味淋と同量づゝ合せたる汁の中に一時間程つけ置き後取り出し金串にさして兩面を程よく燒き之に擂り木の芽を一面に塗りつけあたゝかきうちに食す、擂り木の芽とは山椒の葉のみを洗滌に洗ひ水氣を去り擂り鉢にてよくよく擂り之に醤油と味淋とをごく少しばかり入れてゆるめたるもの

―△會いろいろ▽―

▲西本願寺（若草町）　一日午後二時より朝鮮監獄死亡者の追弔會を執行されます當日は國分長官始め各法院監獄長及典獄の參列ある筈

▲國柱會京城局（勸音町）　兼て日蓮主義布敎しつゝありし伊東顯師は去る二月中旬以來滿洲各地布敎中のところ二十九日無事歸京せられました

▲木浦日宗寺　五月二十八日盛大な入佛式を修しました

▲西本願寺婦人會例會　六月二日午後二時より

▲友枝氏追悼會　故朝鮮通信社長友枝氏追悼會は六月三日午後四時より龍山龍睛寺にて

▲京城中學の相撲會　いよいよ六月一日の午後二時から校庭にて

▲徒弟修養會　京城各商店の店員諸君の爲め六月一日午後八時から女子高等普通學校長太田秀穗氏の講演會が開かれます會費は無料

▲鍾路小學校開校記念日　六月二日は鍾路小學校の開校滿四年記念日に當りますので午前八時から校庭で小運動會を催します

▲鍾路小學校學藝會　六月三日學藝會を催します

▲前田博士講演　三十日夜鐵道局俱樂部で試みられた前田慧雲博士の精神修養講話は無慮二百餘名非常な盛會でありました

商況

東京株式特電
三十一日 前場寄付 大引
[illegible]

債券現物特電
三十日出來値段（前日との比較）
六六、〇〇 一四九、五〇 [illegible]

東京公債直取引特電
卅一日出來値段（前日との比較）
九七、一〇

深川在米特電
八二、六〇 八一、五〇 九六、九〇 [illegible]

東京期米特電
三十一日現在高
八五、二五八 六一、九一九 三一、二一六 [illegible]

大阪期米特電
卅一日前場 七月限 一四、九五 一四、九七 [illegible]

大阪株式特電
三十一日前場 一五五、〇〇 [illegible]

下關期米特電
[illegible]

鞘四十錢上
三十一日前場の寄付は八月限内地米……

◉洋紙新値段
全國聯合會に於て協定値段の現狀維持に決したる事は既報の如くなるが……

案外底固し　輕微なる之が影響も至つて……

雜報

東京株式特電 以下各種相場
▲洋鐵は下落　▲外三菱製紙一圓安　▲安新聞更一圓安の外三菱製紙は二錢方の引弛み　▲帳簿紙は却つて三錢高　▲製粉新物安氣　▲安分物にて四五十錢方唱へらる　▲藥品類持直す　▲新物安の人氣は否定し難きもの　▲悲觀時代を經過し底固き風情

行賣仲買店
吉　仁川 [illegible]

皮革類不勢　氣配はヂリヂリ　引弛　挽割二三割高

京城正米
西井里玄米……（數字不明）

京城雜穀
南大門の廻穀
仁川現物市場
▲唱へ　▲正米　▲大豆　▲粟
釜山穀物市場　三十日

後場反撥す
市場零聞
仁川期米
▲三十一日前場　三十一日前場
三十六錢さ安移り　二十錢三節安　十一錢さ尚安移　大阪七節三十錢四節三十錢高の入

▲沸騰せる大阪跡安を受けて新規に利喰に賣物多し　徐々に二十七錢　跳返し頗ぶ強硬の成行　再び二十七錢　▲反動を來す　賣過ぎ反動か　二十二錢切の跳返し昨前場の安値より　▲鞘減少す　二十二圓〇九錢鞘と縮少　▲筋の買　▲筋の賣　▲新甫内氣配　大阪の三十錢乃至四十錢上鞘　二十錢乃至二十五錢上鞘見當

▲七月限前途如何
▲採算上割高思惑　▲保險的賣り　▲硬派緊張　▲非常に偏し本年の天候は……　▲買力意外に大　▲買方主力の出越し云々

仁川米豆取引所
三十一日の七月限

▲鬼怒川水電
北濱だより
▲大阪土地株
▲明治製煉株

理想的の二大新煙出づ

未曾有の新煙「初日」現る

愈々新綠の候益々御淸祥の段奉賀候扨而弊社今年二月以來京城長谷川町に販賣店開始以來日に增し繁榮に向ひ候段愛煙家各位の深厚なる御同情の賜こ深く奉感謝候然るに弊社は時勢の進展に伴ひ今回左記板倉商店を代理店こ爲し一層貴意を得度候間何卒是れ迄の通り同代理店に御用命の程願上候

此の二大新煙は

二十本入　金五錢

金二錢五厘

弊社苦心の結晶にして

精撰したる銘葉を原料としたる製品なれば御試喫嚴密なる御比較を冀ふ

代理店　京城南大門通五丁目　板倉京城支店　電話二七七一番

天下無敵の新煙「萬福（ハツピー）」票出づ

朝鮮煙草株式會社

……五名を同署に召集し總監部より衛生……營業取締規則、警察署よりペスト及びチフスに關する講話ありたり

……之れを種に一儲けせんと目論見賣却を依頼されたりと稱して同里の地明某に婦を欺き百五十圓にて賣渡し約束……

……知られたる筑前琵琶師荒牧輝鳳氏は元橘流に屬せしものなるが今回自家の総數より一種の曲節を案出し……

……西面湖洞洪淑實（三十）は五月十八日午後七時頃自宅前江岸に水汲に行き誤つて河中に落ち込み水流に押し流され……

●連絡船上陸客
三十日午前釜山入港高麗丸二等客……
三十日午後釜山入港對馬丸……

豫報

△京城溫度 ……

節 八十八夜 入梅 半夏生 二百十日 ……

宮本武藏

第五十五回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

大野良庵は言葉を繼いて　良「ヒョイと向うを見ると一軒の家がございまして中へ入つて見ると仲々山の中とは思へないほど立派な住居、男が十五六人居ります、女なども居ります樣子、何が何やらサッパリ分りません怖々ながら奥へ通りますと病人が寢て居りまして仲々の傷でございます、年齢は四十五六の男で肩から脊中の方へ三寸ばかり切られて居ります　勝「ハヽア其は大變な處へ參つたな　良「其から燒酎で洗つたり何かして療治をいたしまして藥を餘分に置いて行て呉れと申しますから十日分ほど置きまして歸宅をいたさうと存じますと、又七八人の男が出て參りまして駕籠へ乘れと申します、駕籠へ乘ると一人の男が一口差上たいが山の中で何もないから家へ歸つて一口上つて呉れと申しまして金子を一包駕籠の中へ入れました、其から私が一體此山は何處でございますといつて聞きましたが笑つて居て何處とも申しません、又前の通り駕籠の周圍を桐油紙で包みましてドン〳〵飛んで參りまして宅の門口へ參りました時は夜の白々明けでございました　勝「ハア、して其送つて來た者は直ぐ歸つたか　良「手前を宅へ送込んで直に飛んで行きましたがどうも早いことはお話しになりません、どうも餘り不思議でございますから今朝早速此宅へお伺ひ申してお話をいたす次第でございます、手前もあんな氣味の惡い目を致した事はございません　勝「ハア其は平常事でない、察する所山賊に相違あるまい　良「手前も大方山賊であらうと存じましたが　勝「其にしても近邊の山に山賊が居るとあれば捨措れん、併し何處の山といふ事が分らんでは手の下しやうもないが、其許が山で何か見聞したやうな事はないか　良「左樣でございます一つの不思議と申しまするは療治をして戻り際についぞ聞いた事のない鳥が一聲啼きました　勝「ホウ　良「手前があれは何鳥でございませうといつて聞きました處、側の男があれは佛法僧といふ鳥だと申しました、其外に別段變つた事もございませんが　勝「其は不思議だ、佛法僧といふ鳥は高野と日光の兩山より外に棲むものではないといふ事を聞及んで居る、高野は紀州日光は下野、何れにしても京都から二時や三時にして往かれる所ではない、ハテ不審千萬、何處の山中であらうか」と流石の勝重も首を傾けて思案をいたして居りました、時に傍らに居りました重宗ニツコリ笑つて　重「父上御心配なさるには及びません其は私の考へます所では松尾山の事と存じます　勝「ナニ松尾山と申すか、松尾ならば成程二時位で參られるがして何の證據があつて松尾山と考へた　重「ハイ證據と申す程の事はございませんが只今の佛法僧について俊成卿の歌に「松の尾の山の奥にも人ぞ住む、佛法僧の啼くにつけても」といふことがございます高野日光と限つた譯でもございません松尾山にも棲むものと相見えます、右の歌から考へまして松尾山であらうかと愚考致します」勝重手を拍て　勝「三ッ兒に淺瀬と申す諺があるが我倅ながら重宗の器量感ずるに堪へた次第、之は重宗の申す如く松の尾山であらう」と仰しやつて早速下知を下して大勢の役人を松尾山に差向けたる所果して山賊の住家があつて三四十人の山賊が立籠つて居りました、大勢の役人が踏込んで片ツ端から召捕つて了つたといふ之は重宗の文學に明るかつたお話しであります、重宗といふ人は非常に文學を好んで石川丈山、野間三竹、松永昌三などといふ學者と交際をいたし又自から筆を執つて織田信長の傳記を綴りましたのが唯今以つて遺つて居りまする新撰信長記といふ書物、其外にも澤山書いたものが遺つて居ります、さて伊賀守勝重が在職中に禁中に於て雞合といふ行事を再興いたしました、洛中洛外の貴賤老若我も〳〵と拜見に出る、吉岡治太夫も止せば宜かつたが此雞合拜見に罷出で、遂に村雨八右衞門の爲に一命を落とす、吉岡治太夫内裏に於て斬死のお話

六月二日九星
舊五月二日戊午
木命三碧東除赤口

▲三碧 [illegible] ▲四綠 [illegible] ▲五黃 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 [illegible]

院長醫學博士緒方正清
大阪今橋 緒方婦人科病院
X放射線科
ラジウム科
電話本局 一九八四番 一八八五番
内務省指定 緒方助産婦教育所
●産婆生徒 本科毎年十月 別科隨時入學

演藝案内

黃金館
天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店
黃金町四丁目 電話二六三七
六月一日より著替の大寫眞 [illegible]
●新派悲劇うきよ鏡 全二卷 [illegible]
●泰西探偵劇ゴールデン、ハイナ [illegible]

浪花館
明治町 電話二六〇番
●お馴染の浪界重鎭京山恭安齋 [illegible]
△籠惡二人探偵(悪之助)△湖田主人(如月)△九津田越前守(雲照)△水戸黄門記(鬼月)△金鶏動章△探偵若心上意討(操中軒如雲)△義士外傳村上喜劍(操中軒如雲)
●入場料は破天荒の [illegible]

御成座
本町 電話二九一
市川海老松 阪東龜鶴一座
十二日
前狂言 新薄雪物語
切狂言 壺坂靈驗記
五冊
[illegible]

大正館
櫻井町 電話八七三
○六月一日より特別大興行
[illegible]
探偵大活劇黑冠組 全三卷六千尺
[illegible]

壽座
本町 電話五七八
六月一日開演
一、東の旅行(遊二)一、遊汽船(遊六)一、無筆の親爺(遊枝)一、動物園益の踊り(遊寳)一、音曲噺(遊…)一、長唄越後獅子、江戸娘手踊(遊之助、遊菊嬢)一、三人片輪(圓遊)
[illegible]

蛇印アンチピリン丸
かぜ ねつ 最良藥
早く治る藥
よくキク藥
本舗 大阪 東京 丹平商會
さむけ出で發熱し、頭痛し
手足だるく、水ばな出る時
本劑を服せば不思議の効あり(價十錢、十五錢、廿五錢)
にせ物有り蛇の商標に御注意

安全コクオー
無害
特長
まけず かぶれず てまいらず はげず よごれず まっくろに つやよく そまる
東京、大阪各衛生試驗所試驗濟
京都、大阪、神戸大典博覽會金銀賞牌領受
大阪高橋盛大堂
しらか赤毛ぞめ

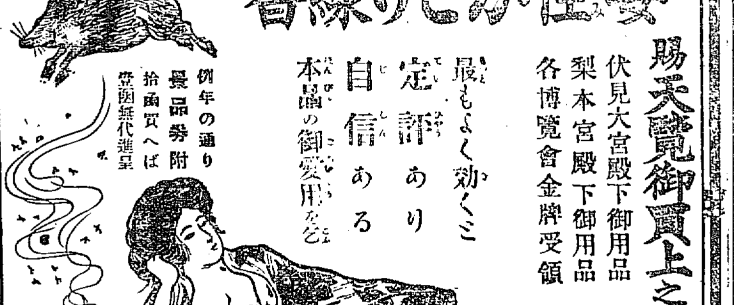
雨の時
走るに及ばず
急ぐに及ばず
吾れに安心あり
理想的雨具の御用意あればなり
理想的 完全無比の雨具
見附島 本田村商店
定價表 御案内 進呈 [illegible]

東洋一の魁
新形流行 内田式ストロング號は堅牢優美、價格一層久保證す
御旅行用 靴と鞄
●定價表郵券二錢
東京市芝區櫻田伏見町角 内田靴鞄製造問屋
電話新一五五一、振替一八六一七

携帶にも服むにも便利な
胃活錠
は醫學藥學的最新の智識を應用し從來の胃活を加減したる新式の錠劑也
定價 貳拾錢 五拾錢 壹圓

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百參拾五萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目(振替貯金京城一二番)
頭取 男爵 澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

安住かとり線香
登録商標
賜天覽御買上之光榮
伏見大宮殿下御用品
梨本宮殿下御用品
各博覽會金牌受領
最もよく効くこと定評あり自信ある本品の御愛用を乞ふ
例年の通り景品券附 拾函買へば豎函無代進呈
到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す
大阪北區曾根崎町 安住大藥房



最上醬油
京城本町三丁目
田中支店釀造
電話七六四番

營業品目
肥料部
蒸製骨粉、乾魚、蹄角粉、草印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部
化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二九七三番 電話二五六四番 振替口座京城四〇三番

比較は最良の選擇法なり
サクラ正宗
サクラ正宗
京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番
振替京城五七番

ミツワ文庫

ミツワ文庫は丸見屋商店の機關雜誌であります。機關雜誌と云へば多くは乾燥無味で、唯當業者が見て參考となりますが、一般には趣味なく知識を得るとも尠いと云ふ傾があります、然るにミツワ文庫は機關雜誌の此記錄を破つて、趣味津々たる記事を滿載し、誰が見ても有益で、最新の科學の進歩、文學藝術、教育界の大勢、商業廣告の現況等、其他百般の新知識を網羅し、記事は悉く本店員又は本店のミツワ化學研究所員たる醫、藥、理、工、法、文等各科専門の學士連の執筆に係るものであります、機關雜誌と標榜してゐますが、實は學藝、教育、評論、家庭、實業的の他の各雜誌の内容と等しいのです、否寧ろ此等のものよりは一歩進んで編輯されてゐます、吾々は身體の營養の爲に食物を攝取するのですが、同樣に吾々の頭腦にも亦食物が必要であります、其頭腦の食物としては、此ミツワ文庫に優る營養物はありません、次の目次を見れば其理由が明に解るでありませう。

丸見屋商店機關雜誌の提供
▼第三十六號要目▲

孫子と商戰……店主 三輪善兵衞
歐洲に於ける藥用植物發達史……平野醫専教授
腕力增進法……醫學士 酒井和太郎
飛行機とツエッペリンの戰爭
漫畫の傑作
揮發油の化學的試驗法……理學士 甲斐悲楠香
水素及水素工業……工學士 越智圭一郎
石鹼及硅酸鹽工業のコロイド……工學士 藤野太治郎
命懸けの活動寫眞
解熱藥の合成……藥學士 小平勵
コロイドの話……理學士 岸喜饒
植物體内芳香性分の生成及循環……理學士 水戸開三
巨砲が吼ゆる迄には
支那人の衣食住……醫學士 小山田謙
不要なやうで而も必要な家庭常備品
樣式化の舞臺……文學士 灰野庄平
廣告に心理的實驗の可否……文學士 藤田篇
ワート式教育法に就て……東健而
毛髮には如何なる油が適するか
一昔前の沙翁劇……山岸荷葉
醫學上より見たる惡癖及其療法……糸左近
沙翁の晩年と其郷土……文學士 久保勘三郎
藝界出入日記……山岸荷葉
金が唸る紐育物語……玉渠宗哉
雜報

定價 毎月一回發行 一部郵税共金拾錢 一ヶ年分金一圓 郵券代用不苦
ミツワ文庫 發行所
東京市日本橋區梧町四丁目
販賣 化粧品、石鹼、香料品、小間物商
丸見屋商店
電話浪花四四八、四四九、四五〇番
電信略號 〇ミナ 振替東京七一〇番

京城日報
第三版
一日朝刊（夕刊と合せて八頁）
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 合資會社 京城日報社 太平通一丁目

●群山浚渫進捗
二四九、七〇〇 二四〇、八〇〇 [illegible]

京城日報 廣軌問題（三）

經濟上、軍事上廣軌そのものゝ有利なる[illegible]は其一端を槪説せり。單に絶對的の見地よりする時は、誰れか又廣軌を捨てゝ、所謂玩具的狹軌鐵道を固執するものあらむ。我問題は廣軌制の可否にあらずして、我邦の國有鐵道の廣軌改築が、之に伴ふ困難なる各種の事情を容易に排除して、實行を期し得らるべきや否やに在り。從來廣軌案の反對者中には（恐らく今日と雖も）地方鐵道の普及發達を急務とし、廣軌改築の爲めに地方鐵道の普及を阻碍せむことを虞るゝが故に、之れが實行の不可を唱ふるものあり。然れども此種反對者は、地方の利害を思ふに急にして、未だ國家の立場に考へ及ばざる者多く之を以て絶對の否定理由となす能はざるは訓ふ迄もなし。固より廣軌案の實行は、最も望ましき事なれども、之れが爲めには鐵道政策以外に更に頗る廣き範圍に亙りて、愼重に調査攻究し、廣軌改築に伴ふ困難なる諸問題の那邊に存するやを知り、之れを如何に處置すべきやを考へざる可らず。

廣軌改築の採否を決するに先だち研究すべき問題は一にして足らず。例へば。果して廣軌改築に着手すると、將又豫定の既設線建設改良計畫を遂行すると、其孰れを擇び、孰れを先にすべきや。帝國の財政は之れが實行を許すや否や。縱令改築の財源ありとしても、之を廣軌改築に充つると、將又現在狹軌全線の複線工事に充つると、其の孰れが鐵道運輸上比較的多くの利益を期待し得べきや。改築を大幹線のみに止め、枝線は依然狹軌たらしむるに於いては幹枝線間の輸送連絡に於て却つて迅速敏捷を失ふには非ざるか。我邦本土の港灣は海陸連絡の設備を、過去の狹軌鐵道に準じて施こしあり、一朝廣軌に改めたる時、港灣の設備も亦從つて改めざる可らず此れを如何にするや。我邦本土は四面海を以て繞らされ、地勢狹長に、從て鐵道と海運とは競爭する場合多し。廣軌に改めたる爲め輸送力は大いに增進するを得るとしても、一方に海運との競爭あり、爲めに充分に廣軌の能力を經濟的に發揮するを得ざらしむるには非ざるべきか。而して現在の狹軌をして複線たらしむるの寧ろ有利なる事なきや。是等は我邦に於ける廣軌改築案に對して當然廻り來る所の問題にして、廣軌案の採否を決定するに先だちて最も愼重攻究を要する所たり。識らず、軌制調査會或は經濟調査會は、此の廣軌案を如何に取扱はんとするか。吾人は今日斷定的に可否を論ずるを避け、茲には廣軌そのものゝ特長を説き、更に我邦に於て改築實行に伴ふ困難の諸點を擧ぐるに止め、之が判定は他日に於てせむと欲す。

三道隨行記　中島生

十三 公州に到る

○燕岐郡廳に在ること一時間、總督は午後五時（十三日）鳥致院を發し、公州より來り迎へたる小原長官、識谷第一部長、谷第二部長、齋藤警務部長等を隨へて公州に向ふ。

○鳥致院より公州に至る間、沿道の山々には樹木少く同車せる道當局者は忠南で有名なる松蚧蛚の慘害を訟き、これこの通りと指し示さるゝを見れば、無殘やな竹ては松樹鬱生して緑青々たりし山姉も、今は斯の虫の爲めにツルリと禿げ居れり。之れが驅除法も頻りに講ぜられ居れど、却々痒き所に手の屆くやうには行かぬ由。何とかして毒瓦斯でも放散し憎き虫ばかりを一擧に驅り盡す方法はなきものか。

○六里二十九町の道を一時間にて錦江の畔に達す。長橋を架せり、之を渡れば公州邑也。橋は半永久的の設備に成り、雨季增水の際は錦江の奔流を支へ難く、兩國橋よりは八間長しと謂へば、完全なる架橋には巨費を要すべし。錦江の水清く、落日沙場風致凡ならず。

○公州にては江畔より邑に至るまで數町の間重なる官民、團體、生徒等道の兩側に居並びて總督を迎へ、總督は徒歩にて鮮人老幼に至るまで懇に應揖し、再び車を驅りて宿舍たる道長官々舍に入る。

朝鮮及び滿洲の工業

貴族院議員 福原俊丸男談

予は今回主に自分の專門たる工學方面について南北滿洲及び朝鮮を視察した、就中朝鮮では平壤の鑛業所並に金鑛發電所下水工事鎮南浦の久原の精錬所並に築港京城の東亞煙草工場專賣局試驗所仁川の築港等殊に予の注意を惹いた

△滿鮮と工業

工業上から滿鮮兩地を一瞥すると勞銀に於て滿洲の方が高い、支那人は日額三十錢内外で働らくが鮮人は四十錢をとる其處に十錢の差を見る、勤勉の度に於ても支那人が勝つてゐる、又最も肝腎な動力燃料たる石炭も現今の所滿洲には撫順炭本溪湖炭等を有してゐるが朝鮮は平壤の無煙炭が使へず此兩點に於て朝鮮の企業の方が不利だらうとも思はれる、唯原料に就ては未だ予も餘り精査せぬけれど滿洲の方規模の大なるを稱してよいやうだ

△平壤附近の將來

其の時期の到來は遠い事だらうが予の觀る所によれば將來平壤を中心とした一帶の地域は大工業地となるべき素質を有してゐる、其の周圍には第一無限に豐富な寺洞の無煙炭、兼二浦の三菱製鐵所鎮南浦の港灣及び製錬所更に其の奥地に多くの鑛山を有しいかに多量の水も大同江は裕に供給して呉れる、更に滿洲にも近い、西鮮の首都で交通の便を具へてゐる、予は平壤の海玄關と云つてよい鎮南浦築港の非難を曾つて耳にした、併し其れは非難する人が無理である、苟くも築港が百萬餘りの金で完成しよう筈がない、平壤近傍が大發展すべき將來を有つてゐる以上鎮南浦港も其れまでには大々的に港灣改良の實を擧げねばなるまい、其時には今まで投じた經費と加工は港灣完成の上の一階梯となり決して無駄には歸せぬのである、予は地勢上平壤は英國蘇格蘭のグラスゴー、大同江はクライド河に酷似してゐると思ふから或は大同江大改修の時期が後世來はせぬかとまで想像して見た

△下水工事と囚徒

平壤の市街地下水工事は朝鮮唯一の施設と聞き其の計畫を仔細に視察した、工事の設計は大して新式でない、鐵筋管を市中に縱横に引き其の高低により汚水を平水の大同江に落す、若し夏時出水の時大同江の水面が漲ると設管より上つた時は喞筒で汚水を汲み出すのである、然し内地の市街でも未だ如斯下水の施設をした所は少いのに早くも平壤が此の衛生上の大工事を行ひつゝあるは稱揚してよい、殊に予が面白く感じたのは鐵筋コンクリート管の製作に囚徒を使つてゐる事だつた、元來囚徒は内地などの實例を見ると大工とか運搬とか云ふ簡單な事業には使役するが下水工事敷設備製作の如き經驗練習を要する用には使はない、平壤府は經費の關係もあらうが兎に角之れを使役して好成績を收めてゐる然も時間や手數など囚徒は極めて機械的で結果が宜しい利益だと云ふ話を當局より聞いたが結構な事だ

△吉林の燐寸業

滿洲の工業界は豆粕の製造が主であらう、撫順の大動力增設計畫も調べて見た、予は中村滿鐵總裁よりも勸められ吉林を視察した、同地の吉林燐寸會社は資金四萬圓で年産二萬箱の燐寸を作り相當成績はよい出資者は主に支那人らしい、其の設立は日清燐寸の支店とも云つた風に成立し吉林の軸木を長春に供給すると云ふ約もあつたのだ、然るに歐洲戰亂以來輸下落の爲め日清燐寸は哈爾賓より軸木を引つけなくなつた、之れは多少商賣方有利なりとし吉林燐寸の方を援上の關係もあるだらう、又吉林に於ける支那側の燐寸會社もある、單純な事業だから競爭者は免れぬ、日支間の關係が昨年來妙だつたから一時は人總然の吉林燐寸は排斥の聲さへ上げられた、其上吉長鐵道は國產保護と云つた風の事並に其他色々の關係から吉林燐寸の製品及び原料の輸送に不利益な手心をとる怪んな具合で同社は滿洲の内陸深く入り實際孤立してゐる予は該事業の如きは半ば國家的觀念の下に經營されてゐるやうに思ふ、北滿洲で前記の如く苦々しい同胞の爭ひをしたりするのは止めて欲しい更に領事並に滿洲在留有力者は燐寸會社を保護する必要はないか滿洲の吾が勢力圏外の事業は結局日支合辦とする外發展の良策はなからうかとも思つた

□衛戍病院の藤（龍山衛戍病院の藤が昨今盛りなりとの事に院長を訪ねて寫す）

「花は後庭にありますが花房の一番長いのは二尺一寸五分ありました盆の井戸の前を張らう」へば「花は後庭にあります花房の一番長いのは二尺一寸ありませんがまあ見事とはいへませう」

露國食糧政策（一）

イッオエ、ウレミヤ所載

春近づくと共に戰線に在る我勇武なる軍隊の大辛苦始まるならん、國民の全力を擧げて此軍隊を支持せんが爲には吾人自らも亦先進陣地に於ける戰線にあらざる背後に於ける極めて難儀なる、緊張せる生活の鬪に於ける戰線、農工商其他職業上の重要なる生産的勞働の戰線に入らざるべからず、必要なる正しき勤勞は總て國家に對する公務なるを以て吾人も亦辛苦を感ずるまでに此勤勞を致さゞるべからず、軍人の血は背後に於ける勤勞の汗を以て報せざるべからず、之が爲には克己と不撓の勇氣を要す、今戰時に當り軍需品を除き何物が最必要なりと問はゞ何人も國民の給養なりと答ふべきに吾人は此點に於て大不整頓の情態に在り、或期間は此不整頓は各種食糧の異常の價格騰貴に依り表示せらるゝも、世上一般の現象の如く其限度に達することあるべく、其限度に達するときは物價の騰貴は第二段となり、或る地方に於ては何程の金錢を以てするも全く獸肉、鷄、牛乳、油脂若くは野菜を得難きに至るべし、吾人は恐るゝことなく眼を開きて將來を考察し時機を過たず其危險に備へざるべからず

頃日第九回商工業代表者會の報告書發表せられたり、此報告は露國の如き農業を主とし商業並に貿易上の均衡も僅かに穀物の輸出に依り支へらるゝ國に於て此大冊子（殆ど四百五十頁）の内僅かに十六頁のみ農業に分せらる、此一事既に露國に於ては平時に於てさへ給養物產の生産は之を優良なる情態に在る歐洲一般並に最優良なる情態にある米國と比較するときは甚だ憐むべき情態なるを示すに足る、此報告書に於て國民の四分の三は農業に依り生活する國に於ては工業も亦主として農家の爲めに勸務す」と言ふは全く事實に合へり工業の運命は全く農家の繁榮及び購買力の進步に依るものとす、露國工業の輸出の爲にせらるゝは極めて僅少なり、而して悲しむべきは獨り工業家のみならず穀類、材木、皮革、羊毛、魚類、亞麻、大麻、鷄卵及び脂油を輸出する農業者も亦何等の製作を加ふることなく即ち何等かの技工を加ふる工業の關係なしに輸出するものとす」而して戰爭の爲め殆ど全く此等原料品の輸出及び外國生産品の輸入停止せられたるを以て吾人は農業並に工業に對する二重の危機に瀕するものとす、勞働者不足の爲め耕作地の二割は播種せられざるものと豫想せざるべからずとの衆議院演壇上に於ける報告は國民多數の耳に恰も晴天の霹靂の如く響けり、加之其減少したる耕作（施肥及び耕耘の意に於ての）素質も亦平常に比し劣等なるを慮るべき理由あり、其故は村落に殘留する勞働者は優良ならずして劣等なるものなればなり、尚ほ之に加ふるに勞働すべき家畜並に地方の農業に最も緊要なる肥料の不足も亦著しく感知せらる、然り而して露國に於ては平時に於ても鋤耕の素質亦他國に比し著しく劣等なり

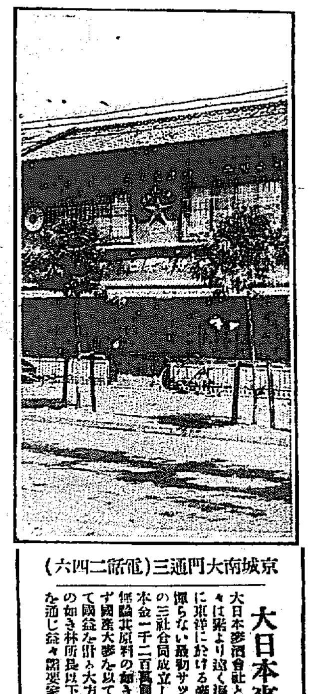
口一句づゝ（五の日十の日合評）

○アカシヤの白花房の袷時れ　鳥堂
○給人常盤木立て牛車停めたり　目池

日報俳壇　雉子郎選

雜吟

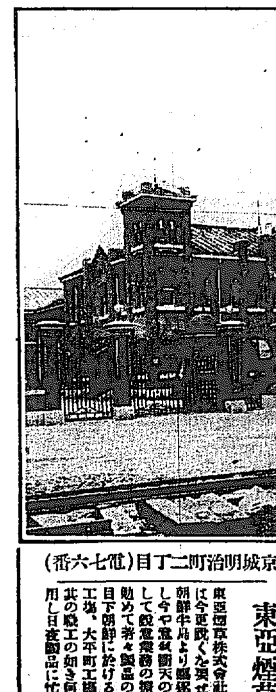
下南の芝山に古都を望み見る　同
鶯や水の溢れたる庭の井戸　同
朧夜や狎に傾して電車待つ　容堂
馬車の客の顏淋氣や春田風　同
雨到る芹田や灯る町遙か　同
練兵場越て藤咲く池ありぬ　よしみ
草の芽や洗濯池の消えを來る　同
靑麥の果なくつゞく曇かな　同



京城南大門通三（電話二四六）

大日本麥酒株式會社京城出張所

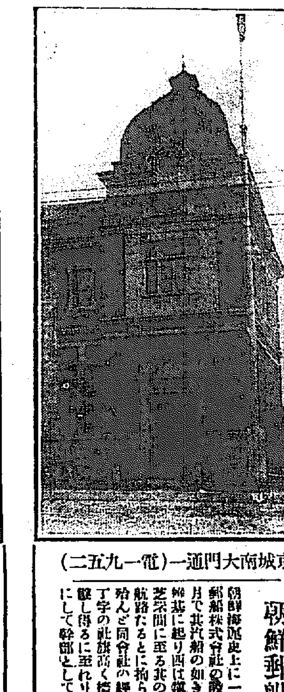
大日本麥酒會社と云へば内鮮の津々浦々は素より遠く海外まで響き亘つて蔽に東洋に於ける麥酒界の王と稱しても憚らない最初サッポロ、エビス、アサヒの三社合同成立したのは明治四十年資本金一千二百萬圓で基礎の堅固なるは無論其原料の如き外國より輸入を抑かず國産大麥を以て國益を計るの大方針である京城出張所の如き林所長以下奮闘努力の結果滿鮮を通じ益々需要家の歡迎を博せり



京城明治町二丁目（電七六番）

東亞煙草（朝鮮）販賣所

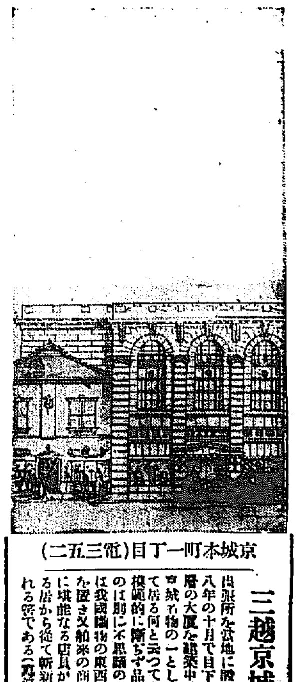
東亞煙草株式會社の斯界に於ける勢力は今更說くを要せぬが英米トラストを朝鮮半島より驅逐し更に廣江商會を合し今や意氣衝天の勢を以て斯界を風靡して販賣業務の擴張と原料の精選とに勉めて著々製品の向上を計りつゝあり目下朝鮮に於ける煙草工場は京城本工場、大平町工場、釜山、全州等にして其の職工の如き何れも數千名以上を使用し日夜製品に忙殺されつゝあり



京城南大門通一（電一九五二）

朝鮮郵船株式會社

朝鮮海運史上に一新紀元を劃した朝鮮郵船株式會社の設立は明治四十五年一月で其汽船の如き五十有餘隻に達し東韓基に起り西は鎮南浦、其他濟州、大連芝罘間に至る其の命令航路たると自由航路たるとに拘らず運輸交通の大部は殆んど同會社の經營に屬し各港至る處丁字の社旗高く檣頭に翻れる汽船を目睹し得るに至れり社長は原田金之祐氏にして幹部としては多士濟々たり



京城本町一丁目（電三五二）

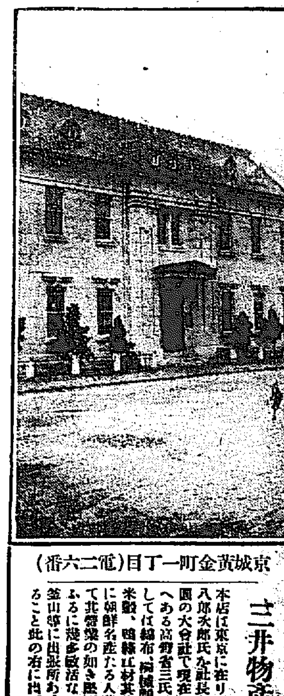
三越京城出張所

出張所を當地に開設したのは明治三十八年の十月で目下時運の進展に伴ひ三階の大廈を建築中で來る九月には竣工京城名物の一として美觀を添へんとして居る何と云つても同店は東洋唯一の模範的に斷ちず品が良くて非常に廉いのは別に不思議の事では無い即ち同店は我國斯物の東西本場京都屋に支店を設き又舶來の商品は泰西の都市に於に堪能なる店員が直接仕入に從事して居る居から從て斬新なる流行品が陳べ寶れる筈である（寫眞は新築中の模型）

京城本町二丁目（電長一六〇）

京城電氣株式會社

同社の營業要目は電氣、電車、瓦斯の各項にして現社長は大橋新太郎氏にして同專務は木元支配人等一意營業の刷新發展に腐心し市區の改正に伴ひ電車線路の延長其他電氣瓦斯等の施設を計り近時需要の激增は殆んど底止する事が出來ない程の盛況を呈して居る目下發電所及瓦斯製造所は龍山の漢江河畔にあり其他仁川鎮海馬山等の電氣も同社の經營に成り頗る有望なり



京城黄金町一丁目（電二六番）

三井物産會社支店

本店は東京に在りて實業界の王者三井八郎次郎氏が社長とせる資本金二千萬圓の大合社で現在の支店長は高橋省三氏にして支店の營業としては綿布、鐵機類、麥粉、砂糖、石炭、米穀、鐵製品材其他内外物産の賣買並に朝鮮名產たる人蔘の特約販賣等にして其營業の如き堅實なる根底と之に加ふるに幾多敏活なる社員の外仁川及び釜山等に出張所ありて其業務の盛大なること此の右に出づるものなし

●頭から黄金の雨

へ或る女より其れは男の頭へ入金を[illegible]撒きかけれは女の方より嫌うて浮氣[illegible]掛けたりと

袁總統の妥協謀策
南京を陷れ後浙江を攻めんとす

南京會議の結果は豫期に反せる爲め袁總統は倪嗣冲をして浙江を攻擊せしめ張勳を南京に赴かしむべく命じ猶二十七日阮忠樞を南京に派し馮國璋に對し段に代りて國務卿たるべしと說かしめ若し馮にして肯せざれば張倪二將軍にて南京を陷れし後浙江を攻むる手筈なりと尤も袁總統は南方を征伏し得る自信あるにあらねど唯之に依りて有利なる南北妥協を爲さんが爲めに過ぎずと(北京特電)

帝政取消顛末公示

北京政府は最近歸京せる海軍總長劉冠雄の報告に帝政取消後猶種々の言を弄し之を以て匪徒を煽動するの具と爲す者ありとのことに二十九日附命令を以て其の誤解を避くる爲め帝政議案に關する顛末を詳細に宣布すべしとの意味を冒頭に昨年帝政發生以來取消に至る迄の顛末を縷述し當時の事情を主として發表し袁總統自身何等疚しき所なき旨を公示せり想ふに今日に於て斯くの如き命令を發するは袁總統に退職の意なきこと明かならん(北京電報)

時局縱談
町田少將歸來談

町田陸軍少將は三十一日支那より門司歸著鄕里鹿兒島へ歸省す少將の談に曰く發換停止に關し北京にては某國大使の言ふが如く列國は支那の財政に對し監視の必要ありとなすも地方は然らず之れが理由は漢口には省內正貨五百萬兩あり政府の命に從はずして發換し二日間に十八萬兩を支出して平靜を保ち得たり又南京會議は湖南山東の二省代表者二十二日出席し袁總統退職の必要なきを痛論し遂に有耶無耶に了れり余は馮國璋と二十一日會見せるが馮は袁總統の意中を知り尙黎段兩氏孰れも總統たる資格なしとし自ら高く標榜し居れり上海にては多數革命黨員訪問し來りたるが要するに南方軍は文章家口論家多く自ら一兵卒となり協力以て北軍に當らざれば其の勢力北京政府を動かすに足らず袁總統には十四日面會せるが顏色非常に憔悴し近時の心痛察するに餘りあるも決して重患には非ず(門司特電)

倪へ來京電命

袁總統は二十九日倪嗣冲に至急來京せよと電命せり(北京特電)

伊軍敵の猛襲を擊攘

羅馬來電公報に曰く二十七日及び二十八日朝敵軍はアデジ及びアッサヨ溪谷間の伊軍陣地に對し再び激烈なる攻擊を爲し且つ慘酷なる襲擊を行ひたるが右襲擊は砲兵戰の爲め堪へず挫折せしめられたり ポシナ、アスチの方面に於て敵はポンナ南方の我が陣地に對し非常の勢ひを以て攻擊を加へたりしも激戰の爲め多大の損害を被りて擊退せられたり アシアゴ高原にて我が軍はアシアゴ流域を俯瞰する陣地を堅固ならしめつゝあり(倫敦電報)

敵軍廿四時間の活動

英軍司令官ヘーグ將軍の公告に曰く過去二十四時間敵の砲兵隊はラバスセー運河とアラストの間の正面特に目指せる部分に對し最も烈しく活動せり殊にルースに於ける我が正面及び補助線に對し猛烈なる砲擊は終日間歇的に行はれたり又アラスト附近の市街に於ける總ての軍略上必要の地點ヌーヴィユーヴアーストに至る迄の正面及びエルヴエルチンシュ附近に於て猛烈に砲彈を試みたり(倫敦電報)

佛獨公報

巴里來電公報に依れば佛軍はキュミエル全戰の進出塹壕數個所に對する獨軍の攻擊を擊退したり(紐育電報)

伯林來電に曰く獨逸公報は獨軍が死人丘南方サンハイゴとキュミエルとの間に於ける全線に沿ひたる佛陣地を占領したる旨報道したり(紐育電報)

獨艦砲擊

獨逸側の公報に曰く獨軍はオステレドの海岸沖に於ける英國海軍の砲擊に對し同艦隊に損傷を與へたり(紐育電報)

敵船擊沈

羅馬來電に曰く一軍艦は二十八日トリエスト港內の敵國運送船一隻を擊沈したり(紐育電報)

樞府定例會議
工場法顛末報告

三十一日は樞密院會議定例日に付芳川副議長以下各顧問官は午前十時より前後して參集副議長より五月十七日の本會議に附議せし工場施行令は政府に於て法文不備の爲め一先づ撤回すべき旨の通知に接せりとて其の交涉顛末を報告し終つて當日は別段御諮詢案の御下附なきを以て一同天機を奉伺して散會せり(東京特電)

銀行條例施行公布

大正五年法律第十三號銀行條例中改正法律並に同法律第十五號貯蓄銀行條例中改正法律は何れも來る七月一日より施行する旨三十一日官報を以て公布されたり(東京特電)

飛行將校遣歐

川瀨輜重兵幹部々員及び飛行將校に對し三十日左の通り辭令ありたり(東京特電)

陸軍輜重兵中佐 川瀨享
陸軍工兵中尉 澤田秀
陸軍輜重兵中尉 武田次郎
歐洲へ出張を命ず(各通)

物集博士退鮮

物集博士は三十一日午後四時半より釜山第一小學校にて「朝鮮家屋に就て」講演を爲し六時閉會ホテルにて晩餐の後櫻丸にて歸東す(釜山特電)

朝鮮の戶口數
大正四年末現計

大正四年末現計に依る鮮內の戶數及び人口を見るに左の如し

▲內地人 戶數八萬五千五百九十五戶にして人口總數三十萬三千六百五十九人、內男十六萬二千六十九名、女十四萬五百十七人なり、而して之れを前年に比すれば戶數に於て二千百八十九戶、人口に於て一萬一千二百十六人の何れも增加を示し、更に併合當年卽ち明治四十三年末に比すれば戶口に於て三萬四千六百三戶、人口に於て十三萬一千四百十三人の激增を見たり

▲朝鮮人 三百二萬二千百九十三戶に對する人口一千五百八十九萬一千四百十九名にして內男八百十六萬二千百三十三名、女七百七十二萬九千百八十六名を算せり、而して之れを併合當年末現計に比すれば戶數に於て二十七萬二千二百三十七戶、人口に於て二百七十六萬二千六百三十九名の何れも著しき增加を見たり

▲外國人 戶數四千三百十五戶、人口一萬七千二百九十一名にして其內男一萬五千五百四十三名、女一千七百四十八名を數へ之れを併合當年末に比較せば戶數に於て二百三十四戶人口に於て四千五百九十七名の何れも減少を來せり

▲總戶口 內鮮外人を合せし總戶數は三百十一萬二千百三戶、又た人口總計一千六百二十一萬千二百九十六人にして之れを明治四十三年末現計戶數二百八十萬四千百三戶、人口一千三百三十一萬三千十七人に比較すれば戶數に於て三十萬八千戶人口に於て二百八十九萬八千二百七十九名の何れも多大なる增加を示せり

朝鮮の加里沃度製造業

時局と市價—兩者の製造法—材料の種類—鮮內の供給力

沃度は歐洲に在りては智利硝石の副產物として採取せらるゝも我邦にては之を主とし搗布、荒布、昆布等の如き多量の沃度を含有する海藻を燒きて先づ沃度灰となし、水に浸出したる後煮詰めて母液を作り、之れに硫酸、二酸化滿俺を加へて沃度を遊離採集す然るに時局の關係上沃度は一時非常に奔騰を告げたるも其後需用を減せし爲め漸次低落し、火藥の材料たる鹽化加里之れに代りて稀有の暴騰を見、從來一貫目二十錢內外に止まりしもの

▲今や二圓以上を唱ふるの狀勢なるより、是れまで沃度の副產物として採取されつゝありし鹽化加里は忽ち位置を轉じて加里を主とし沃度を副として製出さるゝに至れり然れども其製法は沃度を主とするも將た加里を主とするも殆んど同樣なるのみならず、沃度の價格下落せりと雖も昨今尙ほ一磅七圓を下らず之れを戰前の市價三圓五十錢內外に比すれば著しき高價なるを以て之れを製造するには依然沃度を主とし加里を副とするを經濟且つ便利なりとす、又た

▲之れが材料たる海藻には水に浸して乾燥せば黑色を呈するものと白色に變ずるものとの二種あり黑色を呈せるものは白色の海藻に比し多量の沃度を含有するが故に重きを沃度に置かば荒布、昆布、搗布等より製造するを便とするも、加里を主とせば此外從來捨てゝ顧みざりし神馬藻、虎の尾等を用ひ得可し、而して鮮內に於ては荒布、搗布は慶南及び全南沿海に限り、昆布は咸南、咸北の近海以外に生產せざれども神馬藻、鹿尾菜、虎の尾の如きは沿岸全線に亘りて殆んど生產せざる地なきを以て之れを原料として製造するに至らば沃度の量は昆布、搗布等に比し及ばざる可きも

▲加里の採取量は極めて多量なれば決して不利の事業にあらざる可し、現に北海道の如きは本事業各所に勃興し、又朝鮮にては濟州島に於て明治三十七年以來沃度の製造事業を經營せるものあり從來は沃度のみなりしも今日にては又た加里をも採取して漸次規模を擴張しつゝあるのみならず、咸鏡沿岸の昆布に着目して事業を計畫せるものあり、沃度製造のみを主とせば或は收支不償の虞なきに非ざれど、併せて加里を採取するに於ては其收利蓋し鮮少ならざるべし

司直縱談
法官歷訪錄
▲新舊思想の衝突
花田公州地方法院長

▲刑事たると民事たるとに拘らず餘程犯罪の模樣が變つて來たやうに思はれる。內地人が段々田舍に入込んで來て其居住する附近の鮮人を感化するのと、一面には教育の普及に依つて智識が進んで來たのである、從て智能犯が多いと云ふことになる。

▲從來非常に多かつた土地の所有權であるとか例の墓地の訴訟などは、近來土地調査の普及して來たゝめか著しく其數を減ずる樣になつて來た。これもやはり智識の普及したために權利だの義務だの、觀念が發達したのであらう

▲これは犯罪上のことゝは異ふけれども田舍の隅々迄も至る所新舊思想の衝突が行はれて居る新らしいものはどこ迄も新らしい方面に走り舊いものは舊慣を墨守して他を顧ずと云つた具合だから、自然に新舊思想の衝突が行はれる。それだから新舊互に其行爲を非難し合ふと云ふことになる。

▲併し朝鮮人が儒教に依て教育された道德と云ふものは今も尙ほ是等の所謂舊き人によつて保留されて居て例へば親に孝を盡すとか師弟の情誼を篤くするとか云ふとは、實に感心なものである。これらの美點と例の舊慣を混同して、所謂新らしい者は形式ばかりだから駄目だと一率の下に貶してしまふから、そこに衝突が起つて來る。是等は相互に戒めて新舊に拘泥せず良きものはどこ迄も助長して行きたいと思ふ。

全北製紙輸出

全北道內に於ける製紙業の近來著しく發達し來れることは既報の如くなるが殊に白紙(朝鮮紙)は甚しく改良され其の紙質の關係より支那地方に於て最も歡迎を受け最近此方面よりの需要非常なり從來多く京城を經て輸出されたるが此頃に至り直接に輸出を試みんと計畫せる向もあり蓋し角膨白紙は最も支那向なれば將來之れが製產力を益々增大せしむると共に盛んに輸出を圖らば必ず有望なるべく道當局にても極力之れが製產に就き指導獎勵を加へつゝありと

下浦港と釜麗線

全羅南道光陽郡の下浦港は光陽求禮谷城の呑吐港たるべき位置を占め居れど從來定期航路は各航共發著せず不便甚だしき爲め麗水同地方より寄港の要望あり遞信局にて調査の結果朝鮮郵船會社釜山麗水航路の日航船を寄港せしむべく命令を與へ既に二十六日より之が實行を見たり

內地人の農業經營

最近に調査せる京畿道管內內地人經營の農業狀況を聞くに經營者數八百六十五人此の投資額四百四十萬四千四百四十六圓にして其所有地面積は合計十九萬九千零六十五反なるが其の內譯を見るに畓八萬三千二百九十四反田六萬四千二百九十六反山林二萬九千八百七十七反原野一萬一千九百十八坪其の他の面積一萬零五百七反ありと之を前年に對比する時は著しく增加を示せるが其の原因は內地人の移住增加に伴ひ朝鮮に於ける農事經營の有利なるを認め之れが經營の增加せしに因れるものなりと

教員夏期講習會

來る七月二十二日より八月二日まで十二日間京畿道管內に於ける公立普通學校內地人教員及び私立學校朝鮮人教員に對する夏期講習會開設さるべく其の要項左の如し

▲公立普通學校內地人教員の部

科目 手工科 會場 京城高等普通學校內
講師 京城高等普通學校教諭 櫻木榮
手工科は十二時間全部實習製作のみの講習なりと

▲私立學校朝鮮人教員の部

講習科目は國語、算術、教育法規等にして會場は左の五箇所に開設

一、京城 會場 講師 濟洞普通學校長 伊藤文治 仁峴普通學校長 岡田貫
二、仁川 會場 講師 仁川高等小學校教諭 茂山 仁川普通學校長 今井猪之助
三、水原 會場 講師 水原普通學校長 淵上長卿 水原小學校長 坪田
四、驪州 會場 講師 驪州普通學校長 宮下政輿 同校訓導 長友賢哉
五、開城 會場 講師 開城第一校長 土本山之 開城第二校長 小川興五郎

(附記)何れも講習時間は午前八時より午後六時迄なり

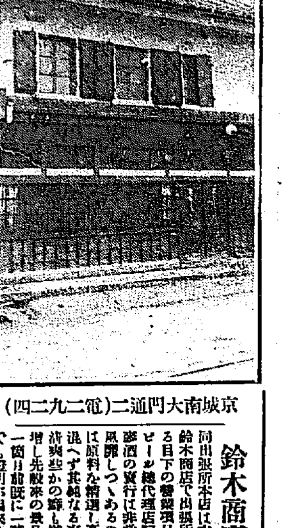
人事消息

▲芳賀總督府醫院長 五月三十一日夜歸任
▲市川三十九旅團長 入京中の處卅一日夜退京
▲谷簡三十九旅團副官 同上
▲島田虎也太氏(平壤覆審法院長) 入京中の處三十一日朝退京
▲前田懸磐氏 同上
▲柳澤佐五郎氏(大邱地方法院長) 同上
▲岡本正夫氏(咸興地方法院長) 同上
▲岡本志修氏(咸興地方法院檢事正) 同上
▲內田鐵氏(咸鏡第二部長) 三十一日夜入京浦尾旅館へ

京城南大門通五(電一七七〇)

滿鐵京城出張所

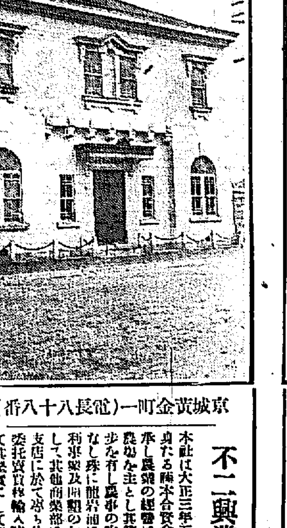
滿鐵鑛務課京城出張所は去る大正元年東京城日拔き南大門外に設けられ土非所長以下朝鮮全道の販路擴張に銳意したる結果旣に朝鮮鐵道の使用炭の全部を供給する外全鮮を御得意として居る其撫順炭の特色は火附好く灰分及硫黃分の少き事品質の如き內地產一等炭に匹敵し運賃其他の點に於て低廉なるのみならず其數量の如き頗る豐富なる點に非常に信用がある



京城南大門通二(電二九二四)

鈴木商店出張所

同出張所本店は本邦貿易界の重鎭神戶鈴木商店で出張所開設は本年二月であるが目下の營業項目は砂糖澱粉及サッポロビール總代理店阿里山檜材等である殊に麥酒の實行は非常に旺盛を極め斯界を風靡しつゝあるの感がある殊に同麥酒は原料を精選し毫も他の調味的材料を混へず其純なる事に努め居る結果頗ぶる淸爽些かの雜味もなく其嗜好の鋭に增し先般來の製品需要出の如き本期は一箇月前既に一萬二千箱を賣盡したので證明が出來る



京城黃金町一(電長八十八番)

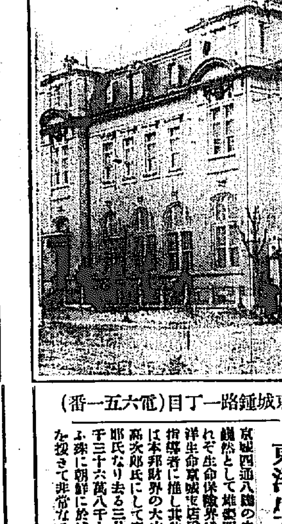
不二興業株式會社

本社は大正三年五月の設立にして其前身たる藤本合資會社の業務の全部を繼承し農業の經營は專ら全北農場及西鮮農場を主とし其管理地は六千四百餘町歩を有し農事の改善に努め水利灌漑をなし殊に臨岩浦に於ける西鮮農場の水利事業及開墾の如き百九十萬圓以上にして其他商業部に於ては仁川群山の兩支店に於て專ら分擔し米穀叺及諸物品委託賣買輸入諸雜貨販賣米穀等に於て其經營實に確固にして伸張なる既に定評あり

京城義州通(電一八七番)

朝鮮煙草合資會社京城支店

本社は明治四十四年十一月の創立にして民製煙草者の巨擘と稱せられ現下の社長は男爵澤伯爵にして昨年來關川源勝村地支配人着任以來銳意社務の改革を敢行し堅實なる營業方針の許に原料の精撰卓越せる技工は愛煙家の認むる處となり今や全鮮に亘り有力なる特約店を網羅し堅實にして敏捷なる販路の擴張振りは營業振興の整頓と相俟つて將々一大發展實現しつゝあり



京城鍾路一丁目(電六五一番)

東洋生命京城支店

京城四通八達の中心點たる鍾路通りに巍然として雄姿四邊を壓する洋館は是れぞ生命保險界に於ける新進の巨人東洋生命京城支店である同社は澁澤男爵を指導者に推し其他重役及大株主として本邦財界の大立者を網羅し社長は尾高次郎氏にして京城支店長は矢澤近次郎氏なり去る三月迄の契約高は實に四千三十六萬八千七百餘圓に達せりと云ふ殊に朝鮮に於ける躍進的の如き顯著なる好成績を示せり

京城南大門通二(電話三一五)

土佐紙會社支店

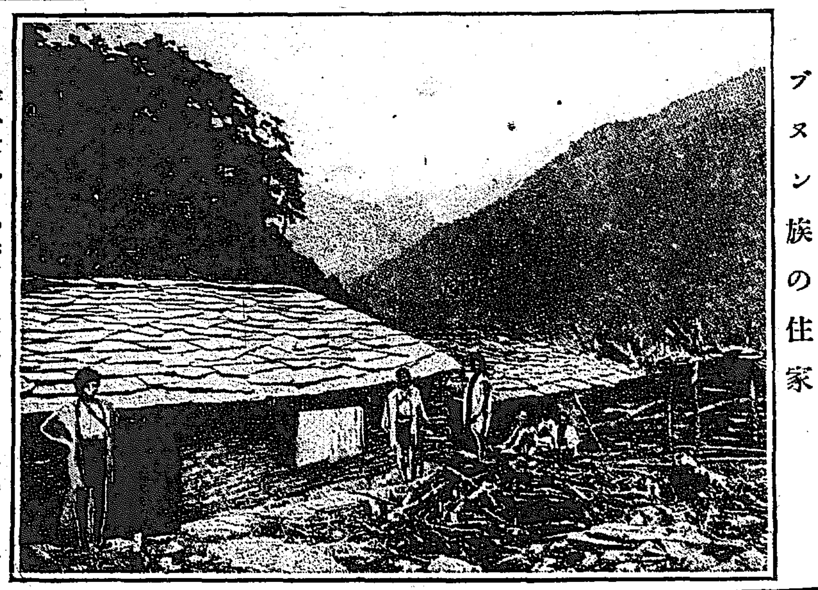
京城の紙商界に於て最も古き歷史を有し信用篤く基礎が堅固で規模の大きいのは確かに土佐製紙株式會社京城支店であらう同本社の創業は遠く明治十三年にして目下資本金七十萬圓(全部拂込)營業項目は製紙の外に附帶事業として製紙用藥品及び製紙用原料貿易中刷用本業を營み現在の販路は東京は勿論東北、九州、朝鮮、滿洲、歐米各國に至る迄同紙の聲價は非常なる高評を以て迎へられ殊に京城支店の活動は目覺しきものあり

[illegible]二日午後[illegible]名の[illegible]と共に同里南方の蛾眉山に草刈に赴き山を登攀する中約八合目頃に一つの岩穴のあるを發見し何心なく其の岩穴を覗き[illegible]死に至らしめ[illegible]逃げ出したるが今度は同山の西方中腹にて草刈に從事中の同郡金泉面內洞里安基燮長女安木德(一七)の處へ現はれ同人[illegible]療治を加へ一方この旨を所轄淳昌憲兵分遣所に向け届け出でたるより同所にては早速里民六十名を勢子とし[illegible]

[illegible]京城府[illegible]洞[illegible]李允植(三三)は三月二十一日壽松洞覺皇寺に忍び入り佛殿にありたる銀製花瓶二個(二十圓)を[illegible]

●[illegible] 平南大同郡[illegible]洞[illegible]姓女長男金周元(一[illegible])及び鳳赫の妾朴[illegible]しむるを主人の鳳赫自分の妾が斯る虐待を受け居るを助けんともせず却つて繩などを與へて暴行を幇助した

[illegible]午前七時頃[illegible]不審の[illegible]司塊頭を[illegible]其筋の[illegible]に捕はれ取調べたる結果忠清南道[illegible]無職高橋新一事趙春一[illegible]同全羅南[illegible]五日の恩典に浴し本年三月十五日小倉監獄を放免せられたる後筑前箱崎町土方稼近藤和一方に滯在し居たる[illegible]て江の浦吳服商大村伍一外數個所に[illegible]て窃盜を働きたるものなり(門司)



ブヌン族の住家

●生蕃物語

戰慄すべき首狩りの話 重もにタイヤルが行ふ

首狩は男の顔を立てる爲め 不淨を祓て誓の儀式を行ふ

土地調査局調理課長 工藤壯平氏談

弓は竹を以て弦は麻糸を以て拵へ長さは四尺ばかりある、矢は鳥の羽を矧いだのと羽根の無いのとあるこれで武器に就て一通りの事を終つたから之れから生蕃の生蕃たる所以である所の戰慄すべき首狩の話に移る、首狩を行ふ種族はタイヤルが第一で之れに次ぐのはパイワン、ブヌン、ツオー族等である、彼等は如何なる場合に

□多く首狩をする

かと云ふに他人と何か爭ひ事を決せんとする場合又たは他より何にか忌はしい嫌疑を受けた場合、又は青年の仲間入りを爲る爲めなどの時に行ふ他人と爭の決しない場合の首狩は其の結果に由つて自己の正當なる事を證據立てる又疑ひを受けた場合にも其の通りである即ち自分は正しいから神樣が自分を祐けて首狩を成功せしめたと云ふ事を示す爲めである此の外、他の男と妻を爭ふ場合又は惡病兒變などを祓ふ爲め又は單に

□武勇を誇る爲め

にも首狩を行ふ首狩は多く土人の旅行者等を襲うて其の首を斬り取るのであつて勿論怨恨なき者の首を取るのである、首狩をする當人は妻が臨月である場合又は父母兄弟等の喪に服して居る間は決して之れを行はない、先づ前記の如き事情から首狩を行はんとする發議者があるとそれを蕃社全體の會議にかける而して討議した上で愈な首狩をする事に決定すれば頭目の指命に依て一人の首狩の

□司令官を拵へて

然して蕃社の男の中から其の首狩に贊成する者共を以て一團體を組織するさうすると其の司令官は此の首狩團を集會所の前庭に整列させて置いて清水を湛ねたる鉢を左手に捧げ右手に草の葉を持ち來り恭しく天に向つて祈りを捧げた後其の草の葉に清水を濕めして並居る各人に注ぎ掛けて穢れ不淨を祓ひ清た後に一人々々其の鉢の清水の中に指を突込んで

□誓の儀式を行ふ

斯う云ふ儀式のあつた後に更に新らしい假屋を作り首狩團は此の新築の家の中に寢て夢を見る而して翌朝各自に見た夢を語り合ひ思はしい夢占が出て來なければ幾晩でも其の家へ凝宿りをする其の内に吉夢を結ぶと其の吉夢を見た者が一行の食事を拵へたり弓、矢、鞁等まで整へ愈々出發して今度は兩側が林である處の道に來て其處で又鳥占と云ふのを行ふ鳥占を行ふ時は一行中で一番若い男に松火、盃其他日用品食事用品を入れた網袋を負はせ外に若い男が一人ついて林の中の

□徑に立つて居る

而してシレック目白と云ふ鳥の鳴聲を聞くのであるが其の鳴聲が吉であれば勇んで出發するが其の鳴聲が惡るければ其處から又引返へして終う此處で一寸いふが鳥占は平素の獵に出掛ける時にも行はれる、物に見ゆて居る出草といふのはこの首狩に出掛る事である愈々出發する事に極ると同行者の妻女一同は餅を拵へたり何くれと旅行の用意をし出發した後には其の家々では皆新らしい爐で火を焚き其の火を守つて一行の歸つて來るまで消ねぬ樣に細心の注意を拂ひ他から火などを貰に來ても其の間は決して火を遣らない家族ば一同物忌みをして謹愼に出草者の凱歌を揚げて歸り來るのを待つて居る。

●ル氏遭難 兇漢洋刀を投付く

カンサス、シチー來電に曰くルーズヴエルト氏に懷中洋刀を投げ付けたる兇漢あり洋刀は氏の乘れる自動車に當れり原因はル氏が米國招魂祭當日試みたる演説中側々獨逸系の米人を攻撃したるに由る嫌疑者數名捕縛せらる(東京特電)

●平壤遊覽團の大歡迎會 餘興の大煙火

本社主催平壤遊覽團の組織發程の發表せらるゝや平壤の市況は頓に活氣を呈し府に於ては官民合同の一大歡迎會を催ほすべく目下準備中なるが是と共に一般市内商店に於ては店飾陳列替等を爲し宿屋料理店飲食店等も新來の客を迎ふべき準備等に著手したり而して歡迎會に於ては餘興として妓生の舞踊藝妓の平壤踊及び仕掛大煙火を打上げ外に名物の觀火會を催すべく目下準備中なり

□遺失物の一番多い場所は 南大門停車場と本町通り

忘れ物の多い季節=届出のみでも毎日十件以上

春から夏にかけて人の心が緩んで行く故か今日此頃路上の遺失品や停車場の忘れ物が漸次殖ねて來た、京城で遺失物の多い本場としては先づ南大門驛と京城銀座の本町通りとで、是れに次いでは

◇電車の中と新町

遊廓とである、結氷期から夜の明けたやうに群つた朝鮮では旅客の往來も毎年四五の兩月が最も多い、停車場の忘れ物は殆んど旅客の遺土産で其他の場所は大抵京城在住者の紛失物である、京城本町、鍾路の兩警察署では恁うした遺失物し届出でと共の拾得品の受附けとを間斷なく取扱つてゐるが、一體に昨今は一寸外出するにも

◇輕裝である爲め

携帶品が深く著衣に附著いてゐない帶の間から革財布が辷り落ちる事や高價な金時計がだらしなくぶら下つてゐる事は屢々往來で見受ける、殊に醉拂つて大金や貴重品を遺棄した人も尠くない、昨今、兩署共毎日拾得物の届出のみでも十件以上に達してゐる、是れ一面から見ると一般社會人心の傾向が

◇公德を重んずる

やうになつた結果でもあらうが是れと同時に又遺失物の増ねて來たことも證明される、假りに落し物の品物檢査を行つて見れば、先づ現金を筆頭にして革財布、墓口、時計、ハンカチ、洋杖、帽子、雑品入りの袋物又は風呂敷包み、洋傘、文房具類、小兒の玩具と言つたやうな小物が多く殊に大袈裟なものになると

◇荷車や自轉車迄

放置して顧みないものもある、警察では市民から届出て來る拾得物は遺失主の判明する迄大切に之を保管し縱令遺し主が來なくとも滿一箇年は保存して置く、更に遺失者の氣分から見れば極めて火急の場合と反對に極めて悠暢な時とが最も携帶品を遺棄し易く、落し易いやうである。

●京龍對抗庭球 近日中に仕合開始

從來京城に於ける庭球界は各部の同好者相集りて各自小團隊を組織し割據して小轍轢を爭ひ居たりしが爲め自然勢力分裂の傾きあり對抗戰の如き場合には殆んど常に勝を第三者に制せられ頗る遺憾多く最近に於ては龍山鐵道倶樂部の優勢に對抗し得べからざる有樣にて現に數年來爭奪せし本社の優勝旗の如き昨春龍山鐵道コートにて開催せしマッチを最後として鐵道倶樂部側に占據せられ居る有樣なるが京城側選手中には恁の如きは單へに京城側各團隊が徒に小派分立して克く一致團結以て敵に當らざるが爲にして若し團結して精を選び陣容を整へ得んには必ずや多年の屈辱を免れ京龍に覇を稱するに至らんとて頃日來頻りに奔走しつゝありしが其結果最近に於て京城ボーイス、瓦斯會社、遞信局、日之出倶樂部、朝鮮銀行、倭城臺倶樂部、東拓、各學校等十餘の各團隊聯合成立し既に幾度か集會協議する處あり團結一決せり恁くて京城庭球倶樂部の名の下に京龍對抗の大仕合を爲さんとの目論見にて交渉開始中との事なるが龍山と云ひても其中心勢力たるべきものは一に鐵道倶樂部にあり即ち京龍對抗と稱するも事實上鐵道倶樂部に京城各團隊總掛りとも言はゞ言ひ得べく愈々圓滿なる交涉纏まり戰鬪開始の日あらば双龍爭玉の活劇正に稱に見る好仕合なるべく同好者間に頻りに期待せられつゝあり

●汽車中で出産

去る廿九日午後六時平壤驛に著すべき南行列車が新安州驛を發し萬城驛に向ひ進行中三等室に乘込み居たる扮裝賤からざる鮮人姫婦は俄かに産氣付き暫時苦悶し居ると見るや男の兒を安々と産み落したるを以て乘合の人々之を看護し遣りたるが萬城驛に著するや産婦は實家は驛より遠からざる旨車掌に告げて平氣で歩き歸りたりと

□平壤の御大典活動

於歌舞伎座

一日午後二時=軍人學生 一日午後八時=一般公衆
二日午後二時=軍人學生 二日午後八時=一般公衆

□入場料 一等四十錢、二等三十錢 三等二十錢(十二歳以下半額)(四歳以下無料)

御大禮活動寫眞觀覧に就て京城日報、毎日申報年來の愛讀者並に今回新購讀者たらむとする各位に對し一大特典が御座います

主催 京城日報平壤支局 毎日申報平南支局

今は二人の大怪あり

野田大塊翁と大相撲

東京の新聞に野田大塊翁が政友會代議士の連中と兩國の相撲見物に出掛け「彌七日鐵傘を吹く青嵐」と云ふ句を行つたとの記事が出たのでわざ〳〵翁の麻布の邸に電話をかけて何時上京したかを問合せた在京友人もあつて昔しは七人將門あり今は二人の大怪ありなど冷かした手紙を送つたので翁は「萬麗に駄句る聲や隅田の青嵐」の一句で返事を遣つたさうな

●夫を慕ふて自殺

京畿道水原郡正南面鉢山里崔容植妻李五郷(三十)は三年前嫁入したるも夫は生來虚弱の爲め農事に絶わず結婚後六箇月目に出稼ぎに行くとて立出でたる儘歸宅せざるより之れを悲み五月二十六日午後十一時頃多量の苦鹽汁を仰ぎて自殺を遂げたり急報に依り水原署員出張檢視の上屍體は家人へ引渡せり

●御大禮活動寫眞

我社主催の御大禮活動寫眞は三十一日より平壤歌舞伎座に於て開會しつゝあるが觀覽申込者大多數にて到底豫定の日程にては觀客を收容する事能はざる爲め晝間二回夜間二回づゝ開催する事に決せり

◉朝鮮の發展と製品 朝鮮煙草株式會社は開業以來常に堅實なる營業方針の下に經營しありしが時勢の進展に伴ひ見て業務發展の機運を看取し今回「[illegible]」「[illegible]」の新製品を賣出したるが其品質の優秀なるに比し廉價なるを以て盛行の景況を呈するならん因に京城一手の代理店は南大門外[illegible]支店なりと

◉上野醫院の移轉擴張 上野醫院は從來黄金町四丁目にて開業中の處診察上狹隘の爲め今回南米倉町元仁濟醫院跡に移轉引續き一般患者の診療に從事する由因に同氏は以前[illegible]防疫醫として防疫事務の嘱託となり防疫事務に從事せし人なり

演藝

▲大正館 六月一日より大正館には[illegible]全部を差替へたるがその内主なるものは左の通りにして就中東劇眞田大助漫遊記は前編後編を通じて十卷に亘る長尺物にて日本物としては近來の大作にして[illegible]

▲黄金館 六月一日より全部新寫眞と差替へたりその主なるものは左の如し 滑稽アックスの醉漢▲實寫アイスランドの風光▲[illegible]▲新派うきよ鏡全三卷▲泰西探偵劇ゴールデンパケット▲[illegible]全二卷

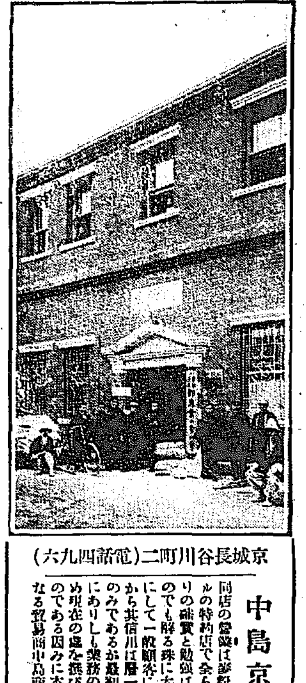
▲浪花館 京山恭安、桃中軒如雲の合同一行の演物は左の如くにして恭安、如雲共に各十八番物なり
▲男一疋 (如月)▲二人探偵 ▲江戸花相撲 ▲探偵[illegible] ▲水府伊藤孫兵衛(如雲)

讀者文藝

狂歌 題「獨逸」

○八ケ國相手に取つて八ツ當りドイツコイツの見境もなし(一等) 京城本町一山路方 隣安 輕夫
△ドイツにも勝てる見込はないものへ引くに引かれずベソをカイゼル 龍山 三村 秋月
△[illegible]カイゼルが未だ身を喰ふ[illegible]の消耗 京城 宮川武一郎
△カイゼルは獨の手前でやせ我慢すれドイツま[illegible] 京城 中田 泰
△輸入品排斥なぞは云へぬ義理かけた眼鏡が獨逸王なら 京城 瑞 波
△カイゼルも舞に對して今更らに停和も出來ず降參もせず 金泉 櫛路 雛人

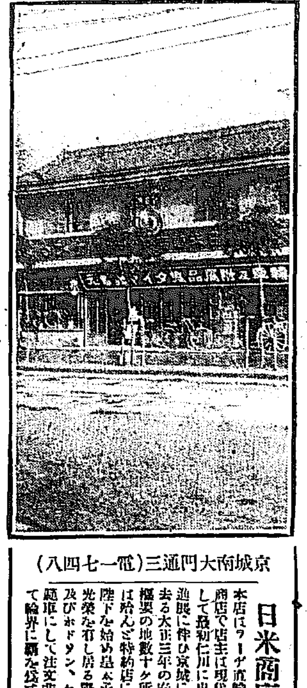
都々逸「日傘」 締切三十日 一日
川柳「窗」 同 二日
物は付「涼しいものは」 六月一日 同三日
一口噺「朝鮮に因めるもの」 同二日 同四日
謎々「支那の戰爭」 同三日 同五日
狂歌「撒水」 同四日 同六日



京城長谷川町二(電話四九六)

中島京城支店

同店の營業は麥粉、砂糖、サクラビールの特約店で至ら卸賣業で其の營業振りの確實と勉強は顧客の永久迷信的なのでも解る殊に大森支店長は新進氣鋭にして一般顧客に對し親切叮嚀であるから其信用は層一層強固になつて行くのみであるが最初同支店は南大門通りにありしも業務の發展に伴ひ狹隘の爲め現在の處を撰び純煉瓦造を新築したのである因みに本店は下の關にて有名なる貿易商中島商店である



京城南大門通三(電話一七四八)

日米商店京城支店

本店はラーヂ流輸入元たる東京の日米商店で店主は現代騎士岡崎久次郎氏にして最初仁川に出張所を設けしも時勢の進展に伴ひ京城に支店を設置したのは去る大正三年の春にして今や朝鮮全道樞要の地數十ケ所の第一流の自轉車店は殆んど特約店にして既に英國現皇帝陛下を始め昌徳宮李王殿下御愛乘の光榮を有し居る堅牢優美なるラーヂ號及びホドソン、ケント號等は無比の機題車にして注文非常に多く全鮮を通じて輪界に覇を成すの偉大の勢力を有す

京城明治町二丁目(電話八四九)

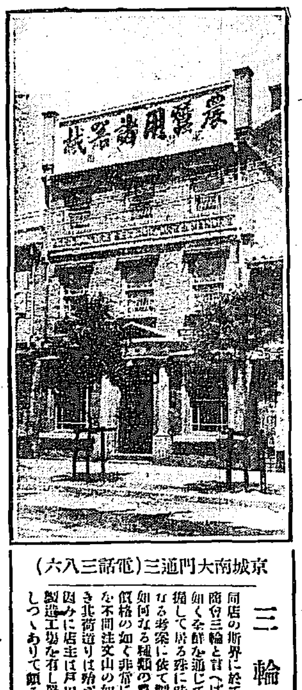
山邑京城支店

同支店は明治四十年十二月の開店で其本店の釀造になる櫻正宗は今を距る二百有餘年來の銘酒にして四海到る所に愛飲家を有し殊に特筆すべきは昨秋の御大典の大饗の際御使用になりし黒酒白酒の御釀造を拜命したに徴しても同店の其の信用篤き程度が偲ばれる今の京城支店支配人石野朋一郎氏は明治四十年一月以來引續き勤續の青年實業家で其の正直にして而も剛敵なる活動振りは今日の青年の模範とす可きである

京城黄金町二(電話一四九六)

日清生命京城出張所

日清生命保險株式會社は去る四十年三月の開業で現社長は本邦財界の巨星中野武營氏で後見役としては大隈伯や高田郷士杯で殆んど早稲田出身者を基礎とし其經營の如き斯界稀有の好成績は驚嘆の外なく昨年十二月迄の契約高の如き二千八百七十萬圓に達せり京城出張所は所長横田龍三郎氏統轄の下に多數有力の社員駐在し各道の樞要地には代理店を設け幾多の先鋒を凌いで來實なる營業機關の整頓は驚くの外なし



京城南大門通三(電話三八六)

三輪商會

同店の斯界に於て農蠶具と云へば三輪商會と言へば農蠶具店を聯想する如く全鮮を通じて獨占的に其商權を掌握して居る殊に時流の趨勢に伴ひ斯かなる考案に依て製作されたる物は勿論如何なる種類の農蠶具と雖も取寄せて價格の如く非常に確實であるから遠近を不問注文山の如く農蠶の最盛季の如き北商道りは殆ど戰爭の如き趣がある因みに店主は戶田若藏氏にして旭町に製造工場を有し器具器械の發明に腐心しつゝありて頗る奮闘努力の人である

京城本町一丁目(電話六八四)

大阪屋號書店

新刊と云ふ新刊は勿論如何なる圖書雜誌と雖も悉く取り寄せて讀書界の便利を計つて居る同店の進取的熱心なる努力は實に驚く程で殊に雜誌及び圖書配達の迅速は讀者に取て一日千秋の思ひであるから深く此點に注意し最も敏捷な發送をなす爲め遠隔の地よりの注文引きも切らないと云ふ好況を呈して居る尚ほ同店の特色は普通の書店と異り總てが開放的であるから顧客は隨意に一通りしながら手に取つて見られるやうになつてゐる

女鴉

渡邊默禪

（二）雪の驛路

『おゝ降る〱、さかんぢやね。』
『いや實に壯觀でございますなあ、何ごともはや形容ができません、どうです此の光景は……いや愉快〱。』
『私し寒いわ。』
『お寒うございますか。』
『寒いわよ、些とも愉快なとはないわ。あゝ早く温かな所へ行きたい。』

『アハヽヽ、最う些とこの間の御辛抱でございますよ、お嬢様。まア御覧遊ばせ、この降り樣を……東京なんかぢや見たくつても容易に見られはしませんせ。まるで布を一面に張つたやうで、一白蕩々咫尺を辨ぜす、いや驚きますなア。』
『驚いてばかりゐないで、早く如何かして頂戴よ。私風邪を引くわ。』
『なんぢや、弱蟲奴。これしきの寒さに辟易し居つて……山へ入ればもつともつと寒いぞ。』
『ですけれどお父さま。眞箇に寒いんですもの。』
『アハヽヽ、正直のところ私しも寒い。』
『それ御覧遊ばせ、やつぱり生きてゐらつしやる人間ですもの、お父樣だつてお寒いでせう。』
『ウフヽヽ、妙なところで揚足をとられたのう。それは左うと生駒、どうしたらう、大野は？驛長に問合せてとも居るのかな、宿を……。』
『いゝえ、橇を探しに行くとか申して飛出したまゝで、最う程なく戻つて參りますでせう。』
『左うか。』

『如何でございます、驛長室にお入りになつて少し暖まりなすつては。』
『なに、此處でよい。』
『左樣でございますか。』

大寒に入つてまだ三日目の初春廿三日。晡下りの玄雲に壓しつけられた村山の大平原をうねつて、泣くやうな汽笛の叫を殘しながら、北へ北へと奔つてゆく青森行の列車から、倦て降りて來た四人連の旅客があつた。

其處が奥羽線の山形市から約九哩の神町といふ小さな驛だつた。

今がちやうど吹雪の那裡——吹雪といつても風があるのではない。死んだやうに沈み切つた氷點以下の空氣は、たゞ雪に窒られて餘儀なく微かに動搖してゐるのみである。空から落ちて來る雪は雨量二千耗以上の地方にふるやうな、べとべとした濕氣をもつて直ぐ融けやすい、それではない、氷のやうな凍てついた氣流に孕まれて來るだけに、からから固く凝結した六稜片である。小さい、いかにも小さい結晶である。それが粉を吹いたやうにぺた一面に空中を埋めて降る。いや降るのではない、飛ぶのだ、飛ぶといつても直線ではない、曲線に渦巻いて跳るのだ。跳るにも力がある、恐ろしい力がある。帽子でも外套でも髮の毛で突いたほどの罅隙があつたら、そこから錐の尖を透したやうにもぐり込む、刺しつらぬく。五分間とその中に立つてゐようものなら、衣裳の凡てが鎧のやうにがたがたに硬ばつて了う。髭に氷柱が張り、睫毛に霜が結ぶ。

その雪を眺めて、停車場の前に悄然と佇んでゐる三人のうちの一番大きな軀が、昨日——東京を出發して、福島に一泊して、それから山形を素通りして來た子爵の主獵官大河野通俊であつた。でつぷりとした肉つきの鼻の隆い眼の涼しい、かいせる髭ののびんとはねた、打見からして威嚴ある。面容で、狼のスポーチングスーツ——運動服——に帶のついたのを著た、臘虎襟の厚ぼつたい黒の外套へ暖かく包まつてゐた。帽子は手輕な鑑猟降の鳥打だ。

その側に立つたのが、令嬢の鳩子である。

新刊紹介

▲朝鮮諸官廳受驗者必讀法律講義　通論、憲法、行政法、刑法、民法の五編に別ち普通文官試驗及文官見習試驗規則に依り是等の試驗に應ぜんとする者の參考書たらしめんとせるものなるが叙述簡潔平易にして各章末に難解の術語を口語を以て俗解し又は例解し且つ又法理圖解を提示せるのみならず問題として設けられたる問題をも掲げ本文に記憶せしむるの注意を用ひ殊に行政法に於ては朝鮮特種の行政制度に付き[illegible]せる法規に基き直ちに採つて試驗答案となし得るに適せり受驗者注意なる[illegible]（定價八十錢京城本町一大阪屋）

釣道具新荷著　釣道具其他漁網製造御商　投網　一式　京城永樂町二丁目　吉備商會　監獄署製品販賣所

商況

大阪株式特電

和歌山… 合同紡績 … 一六九、九〇 … 一四八、九〇 …

換てより工事中な[illegible]鎭南浦浚渫工事個所は漸次水深を増すの狀態にあり碇泊せしむべき程度までに竣工する[illegible]數千人を傭ひ之を[illegible]に浚渫するの[illegible]使用の許可を得たりと云ふが其使[illegible]

事は豫想外に進捗[illegible]當初約三年の時[illegible]故に洪水等特殊の出來事なき以上永[illegible]等なり鎭南浦港口の浚渫も頗る必要なる[illegible]說又は朝鮮人を募集して[illegible]用物件は[illegible]諸地（到る迄の汽車）[illegible]

鎭南浦億[illegible]機里金敬鎬妻裴姓女（三五）を止むべしと[illegible]へられ深く之れを識[illegible]し去る二十五日[illegible]

京日案内

普通（一回掲載毎に一行金三十錢割引 匿名一回前金十錢增）
番外（一回掲載毎に一行金五十錢）

▲普通

手ほどきから色々取揃へ有ります　囲碁と五目並べ　京城本町二丁目　電二五二七　ウツボヤ書店　320

有給社員至急募集　京城黄金町二丁目　明治公債支部　170

貸家　鍾路警察署横仁寺洞二五五　日本建官吏會社員向家賃格安　使用の便あり　電話二四三六番　井電話　488

雜誌巡廻讀書會　新古圖書雜誌　▲交換　▲割引　買入　京城本町一　松井松榮堂　電一三七八　492

▲番外

月給拾八圓以上弍拾五圓迄外に手當を給す　▲鮮語に熟達の社員參名募集す確實なる保證人ある希望者は來六日午前十時履歴書を持參の事　黃金町シンガーミシン會社　321

廣橋自働車組　南大門通一丁目　京城春川間貸金片道四圓　京城發午前八時　春川發午前八時　電話二二九番　主務　金正淵　322

玄米乳　▲類似の名稱を附し不良品あり御用心　東京化學研究所指定店は京龍間に本舍一ヶ所とす　北米倉町　玄米製乳舍　電四五七　494

鮮語科　英語科　新學期　三ヶ月修業　甲乙丙共各組補缺　京城黃金町二丁目水標橋通入　南大門通漢城銀行前　京城青年會　313

▲被雇度　事務員、卅一、性溫厚、品行嚴正の會社銀行大商店希望御報拜啓　姓名在社　319

荒物食料雜貨　井上商會　前記へ移轉諸品取揃へ勉強仕候　電話二〇八三番　306

電話口消毒器　販賣貸付　▲遞信省認可　▲專賣特許　朝鮮特約一手發賣元（電話一四二五）　京城黃金町電氣器商巴商行電氣部　461

内科　兒科　專門（呼吸器胃腸病）　山田醫院　京城本町二丁目（元中島病院跡）（入院隨意）　電話二八〇番　197

礦物定量分析　坂元分析所　京城太平通二ノ一二五　電話一三四四番　416

皮膚病　花柳病　專門　須古醫院　京城永樂町一、商品陳列館坂の上　電話二一〇二番　196

讓店　京城本町　最目抜場所　有利確實經便商業　希望者は電話二〇二五番　324

猫牛馬に施し狂犬病豫防注射を豫め犬に施せば狂犬病に罹らず　南山町二ノ六　京城狂犬病豫防注射所　京城家畜病院　電話取次九三　犬猫診察　獸醫　高木正人　323

恩給年金類立替　京城本町二（京城銀行横小路）　吉田屋　326

茶。花。琴。教授　月謝のみにて各教師となる迄教授を受くることを得　京城大平通一丁目京城日報社西側　北約二丁明月館南一丁　木本與志惠　327

▲廣告▲　わきが　今迄彼是と藥を用ひ効なき方はフアーザー　藥價三十錢六十錢　郵送料不要　を一度御使用あれ　注文は前金の事　京城黃金町三丁目　山田文殊堂藥房

新刊書御案内

書名	著者	定價
會社法運用	木村房次郎	二、八〇
訴訟必勝法	佐藤	六〇
最近犯罪の研究	羽太鋭治	一、三〇
受驗參考國語解釋要說	内海弘藏	九〇
獨學自在勉強の仕方	奥田二秋	八五
英文法の先生	花山鉚定	七〇
獨逸思想と其背景	朝永博士	七五
英明詩集うた姿	英朋	一、五〇
少年傑作文集	二金	三五
歌集末線	吉井勇	六五
耶蘇の宗吾	原坦嶽	一、〇五
人の裏	横溝耕堂	八〇
夢の女	永井荷風	七〇
續お目見へ	まわりなでしこ	三五
第二之女	小山内薫	四〇
通俗講話花鳥風月		九五
春浪快著集	押川清	一、三〇
新式園藝寶典	鈴木鎌次郎	六〇
謠曲講義	鈴木暢幸	一、三〇
碧梧句集	大須賀乙字	六〇
俳句自由自在	武田田源	七〇
荒木又右衛門	技術講談文庫	三〇
猿飛佐助大名探	技術講談文庫	三〇

京城本町　大阪屋號書店　電話二〇八六　振替京城二五七三番

夏衣大賣出

六月一日より七日間

御買上高壹圓五拾錢毎に福袋一個宛進呈

京城明治町　唐川呉服店　電話二六一番

賛化病院

京城本町二丁目　電話二四一番

内科　小兒科　入院隨意　毎日五名を限り無料施療す

醫學博士　古城憲治
醫學士　上野亮藏

新荷著アンクル式片側懷中時計

十三年形　十九形　十七形　十八形　十九形　十八形　十六形　二十形　十二年形　二十二形　二十二形　十九形　十八形　十六形　九形　（ニッケル側、銀側、金側 各種）

右は今回新着の商品にて本商會に限り[illegible]

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國寶石直輸入商

インググレツシー商會　京城本町二丁目　電話九七二番

移轉廣告

今般業務擴張の爲左記へ移轉致候

京城府瑞麟洞卅一番地（鍾路巡査派出所横入る）

重石買入所　大菱商行　下村泰造　電話（局）八六番　電略（ダイ）

タングステン

用手廻掲鑛機及大マグネツト中根式鑛山機械は好評にして賞牌一等を授與され五週年記念物産共進會に於ても賞牌一等を授與され朝鮮の光榮と業界に於ける最初の受賞者たるを得

京城南大門通五　電話一〇四番　中根商會

滿蒙處分論

クロパトキン將軍原著　日高白井譯　定價金一圓

京城日報代理部　振替貯金京城三〇〇番

桑種

時季!!!

多數の御注文に對しては特に割引可致候

普通桑純良新種子　壹升に付代金四圓
普通新種子　壹升に付代金貮圓
御注文は官廳の外前金を申受候

京城南大門外　朝鮮勸農株式會社販賣部　電話四〇三番　振替口座京城三七八番

日韓書房

新版報告

大町桂月著　傑人佳人　定價一圓十錢 送料八錢
八杉貞利著　露西亞語學 縮刷　定價一圓二十錢 送料八錢
笹川臨風著　日蓮上人　定價六十錢 送料六錢
諏訪蜂園主著　實際養蜂　定價一圓三十錢 送料十二錢
坪内士行著　西洋芝居土産　定價一圓四十錢 送料十二錢

京城本町二丁目　電話一四五・二二七番　振替口座一一五番

金剛山探勝

南大門、仁川、大邱、釜山、平壤驛にて金剛山探勝往復乘車船券發賣

單獨旅行　三割引
十人以上團體汽車往復共五割引

連絡徑路　元山驛發汽車、元山、長箭間汽船に依り汽船は六月一日より十月末迄一ヶ月十二回以上其の他は一ヶ月六回兩港を出帆す

金剛山ホテル　山麓溫井里に在り長箭港より陸路二里

朝鮮總督府鐵道局

父嘉一郎儀大阪醫科大學病院に於て病氣療養中之處藥石無効去る廿日永眠致候此段謹告仕候也

追て來る六月二日午後五時花町華嚴寺に於て追弔會相營み可申候

五月三十一日

男　今井嘉三

大阪商船仁川出帆

○外航所屬航路（遠洋航路を除く）は五分引を以て聯絡切符發賣仕候

○大智丸　群山、木浦、釜山、馬關、門司、神戸、大阪行　六月八日　後五時出
×天智丸　木浦、釜山、馬關、門司、神戸、大阪行　六月一日
○安東丸　同　六月五日　後二時出
××信濃川丸　木浦、釜山、巖原、鄕の浦、長崎行　六月一日
○信濃川丸　同　六月十六日　後二時出
××信濃川丸　鎭南浦、大連行　六月廿九日
○信濃川丸　同　六月十一日　後二時出
×福州丸　大連直行　六月十七日
○潮州丸　同　六月八日　正午出帆
△群山丸　群山、釜山、横濱行　六月十三日
○潮州丸　同　五月三十日　後二時出
×福州丸
○淸津、浦潮行（元山出帆）（印）八城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
▲播磨丸　六月八日
▲安平丸　六月十四日　後二時出
○基隆丸　上海、北隆、打狗行（大連出帆）　六月十七日
湖北丸　六月六日　後四時出

御注意　○朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候　○御乘船客は本船出帆約一時間前御乘船被下度　○×印は一等客御斷り △印は貨物御斷り

切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二番・二〇番
京城切符發賣所　内國通運會社支店　電話七〇八番
中國四國沿岸各港行船客に對し門司迄割引を以て聯絡乘船切符發賣仕候

日本郵船仁川出帆

大連、太沽、牛莊行
○相模丸　六月四日　正午出帆
高砂丸　六月十二日　正午出帆
三河丸　六月廿四日　正午出帆

仁川海岸町二丁目　電話十一番　堀回漕部

朝鮮郵船出帆

本社　電話長一九五二番　京城南大門通松原運送店（電話一七〇番）

○全羅丸　○京畿丸　○黃海丸　○咸鏡丸　門司より釜山各港經由雄基行　六月十一日　六月一日　六月五日　六月十五日　釜山發
○穩城丸　○昌平丸　○鏡城丸　元山より各港經由雄基行　六月二日　六月六日　元山發
○忠淸丸　○平壤丸　城津、清津浦潮行復航釜山より門司又は長崎行　六月一日　六月十二日　元山發
○永興丸　北久、有川浦行　毎月廿八回　元山發
○盈德丸　甘浦、九龍浦、浦項各港經由陸島行　月　日　釜山發
○江陵丸　○漢陽丸　長生浦方魚津寄港　毎日　釜山發　浦項發
○三浦丸　長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港　六月六日　釜山發
○海州丸　○統營丸　○巨濟丸　○慶尙丸　毎日　釜山發
○順天丸　各港經由麗水行、麗水より釜山行に接續　三日目毎ニ（三日目一回木浦行）　木浦發
○慶興丸　各港經由濟州島行（西廻）　六月三日　木浦發
○公州丸　南多島海列島行（月三回）　六月四日　木浦發
○公州丸　各港經由濟州島行（東廻）　六月八日　木浦發
○宗信丸　海州仙各港寄港鎭南浦又は[illegible]行　六月三日　仁川發
○江原丸　青島、大連、芝罘行　六月六日　仁川發
○臨水丸　○晉州丸　各港經由木浦行　六月一日　六月五日　仁川發
○錦江丸　○南陽丸　江華島、桐島山、海州行　毎日午前　仁川發
○平安丸　往航 大黒山、木浦、門司、若松行　復航 門司、木浦、群山行　六月七日　六月一日　群山發　若松發

仁川代理店　山下回漕部　元山代理店　田口回漕部　京城取次店　河村運送店

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行
第十共同丸　六月一日入港　六月一日出港
第一阪鶴丸　○城津、淸津、浦鹽行（元山出帆）　月　日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行　月　日前八時出

（元山出帆）阿波國共同汽船株式會社　仁川代理店　山下回漕部　元山代理店　田口回漕部　京城取次店　河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行　立神丸　六月廿三日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行　立神丸　六月　日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行　小倉丸　六月　日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　六月　日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行　第三共榮丸　月　日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三共榮丸　六月　日後六時出帆
住須奈、嚴原、壹岐、博多行　○天眞丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日（午後十時出帆）

釜山埠頭立新町　本船取扱店　大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○大正丸　五月　日後四時出帆
○大有丸　五月　日後四時出帆
○神代丸　六月　四日後四時出帆
○秀吉丸　六月　九日後四時出帆
○君が代丸　五月　日後五時出帆

仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部